

09. 社会医学研究部

部長：森崎 菜穂

【ミッション・目標】

社会医学研究部は、複数の疫学研究手法を用いて、胎児期から幼少期の環境が小児及び成人期の健康に与える影響を調べています。主に、小児期や子育て家庭における各種疾患や社会的困難の原因を追究し、研究から得られた成果から、安心して妊娠・子育てできる環境を社会に提案することを目標としています。

当研究部の構成員は疫学、統計学、社会学、遺伝学、精神保健、栄養学、小児科学、周産期医学、子どもの認知・行動および社会情緒発達等の幅広い専門知識を有しています。このため、全国の大規模な統計情報や医学情報データベース等を活用した研究から、地域レベルでのリクルート・試料採取を行うフィールドワークや記述的な研究まで、多岐にわたる研究手法を用いています。

また、2016年より6NCプロジェクトとしての電子的臨床研究基盤整備事業を運営し、この一環として2022年度からは全国出生コホートコンソーシアムを運用しています。

疫学研究とは、様々なコラボレーションを通して、より質の高いそして代表性の高い研究を遂行していけるものだと、私たちは信じています。

【研究プロジェクト】

[電子的臨床研究基盤整備事業]

1. 6NC連携「健康寿命延伸をめざした疾患横断的予防指針」の作成
2. 6NC運用コホートのプール解析の実施
3. 6NC運用コホートを用いた、幼少期環境の成人期疾患発症リスクに関する影響の分析
4. 全国出生コホートコンソーシアムの立ち上げと運用

[新型コロナウイルス感染症の流行とその影響に関する研究]

1. センター職員における新型コロナウイルス感染症の実態と要因に関する調査
2. 新型コロナ流行下における親子の生活と健康への影響に関する全国調査

[アプリ「ルナルナ」を用いた女性ヘルスケア研究]

1. 社会心理的要因が月経等妊孕性・性行動に与える影響に関するコホート研究
2. コロナワクチンが月経等妊孕性に与える影響に関するコホート研究

[データベース・リンケージ研究]

1. 日本産科婦人科学会（周産期登録、ART登録）と診療情報（DPCデータ）の連結の実施とその分析に関する研究

[成育母子コホート研究]

1. 6歳までのデータのクリーニングおよび集計
2. 9歳児の親子の食事摂取量・食生活・ボディイメージと関連因子に関する前向き研究

[世田谷区における小児肥満研究]

1. 小児生活習慣病予防検診のデータ入力、集計、およびその結果を踏まえた小児生活習慣病予防検診の在り方に関する提案

[既存の大規模データの二次解析研究]

1. エコチルデータを用いた妊娠中の体重増加曲線の作成
2. エコチルデータを用いた周産期要因と児の予後に関する研究
3. エコチルデータを用いた妊娠中の母親の食事と児の予後に関する研究
4. 人口動態統計を用いた幼児の身長の時変化とその要因に関する分析の実施
5. 匿名レセプト情報・匿名特定健診等情報データベース（NDB）を用いた小児の感染症の診療のパターン分析
6. 匿名加工医療情報データ（DPC）を用いた思春期の入院治療に関する研究

7. 匿名加工医療情報データ（JMDC、DeSC、MDV）を用いた小児への医療提供体制の分析や医療政策効果の検証
8. 様々な自治体で実施された子どもの生活実態調査を用いた子どもの家庭環境の影響の分析

[子育て環境と子どもの健康と発達に関する研究]

1. 乳児がいる家庭の父親と母親のメンタルヘルスに関する研究
2. 母親の幼少期の逆境体験が母親の現在のメンタルヘルスおよび子どものメンタルヘルスに与える影響
3. 父親の育児への関わりの影響および父親の健康状態に関する分析

[子どもを産みやすい社会環境に関する研究]

1. 不妊治療を経験する女性のメンタルヘルスと QOL に関する追跡調査の実施
2. 高度不妊治療を始めたばかりの女性のメンタルヘルスに関する量的分析
3. 高度不妊治療を始めた女性が感じている悩みや苦しみに関する量的・質的研究
4. 高度不妊治療中の女性の就業継続および QOL の変化に関する量的分析

[東京都足立区実施の子どもの健康と生活実態調査に関連する研究]

1. 東京都足立区における子どもの健康と生活実態調査に参加している子どもおよび家庭の特徴
2. マルトリートメントを受けた経験とその後のメンタルヘルスとの関連の研究

[産後ケアに関する研究]

1. 産後ケア利用者の母子の健康、児の予後に関する研究
2. 産後ケア利用者の心理的支援方法に関する研究

[思春期のメンタルヘルスに関する研究]

1. 東京ティーンコホートデータを用いた摂食障害のリスク因子に関する研究

[川崎病に関する研究]

1. 川崎病の治療反応性に関わる臨床および遺伝的情報に関する研究
2. 川崎病に関連する遺伝子解析に関する研究（川崎病遺伝コンソーシアム）
3. 川崎病に関するシステマティックレビュー（Cochrane project）
4. 川崎病既往者や家族に対する教育体制の構築に関する研究

[小児血液がんの発生に関する研究]

1. 小児白血病の発症に関わる遺伝素因の探索（日本人対象）
2. 小児白血病の発症に関わる遺伝素因の探索（国際メタ解析）
3. 子どもの血液がんの環境・遺伝的要因に関する疫学研究（日本人対象）
4. 胎児期の母体感染症が小児白血病の発症に及ぼす影響に関する疫学研究（国際プール解析）

[成育医療研究センター病院との共同研究]

1. 小児がん経験者の医学的・心理社会的晩期合併症に関する研究「NCCHD Lifetime Cohort」（小児がんセンターとの共同研究）
2. 両側肺動脈における至適絞扼サイズの決定とその介入効果に関する研究（心臓血管外科との共同研究）
3. 日産婦産期委員会データベースを用いた各種分析研究（産科との共同研究）
4. 乳幼児の発育の経時推移とその要因に関する分析研究（内分泌科との共同研究）
5. こども QI（臨床指標）の開発・修正・社会に関する研究（情報管理部・総合診療部などとの共同研究）
6. 免疫アレルギー疾患対策に関する研究基盤及び評価基盤の構築に関する研究（アレルギーセンターとの共同研究）

7. 小児科外来を受診する心身症患者の予後因子に関する研究（総合診療科との共同研究）
8. 新型コロナウイルス感染症患者の心理社会的予後に関する研究（総合診療科との共同研究）

【研究体制】

部 長：浦山ケビン（～R3 年 3 月）、森崎菜穂（R3 年 4 月～）
 室 長：加藤承彦（行動科学研究室）
 室 長：大久保祐輔（臨床疫学・ヘルスサービス研究室）（R4 年 2 月～）
 研 究 員：三瓶舞紀子（～R3 年 3 月）、田中久子、半谷まゆみ（～R3 年 3 月）、
 Aurelie Piedvache、小林しのぶ、茂木成美（～R3 年 3 月）、岡坂昌子（～R3 年 3 月）、石
 塚一枝（R3 年 4 月～）、近藤天之（R3 年 8 月～R4 年 7 月）、榎並公平（R3 年 11 月～）、
 帯包エリカ（R4 年 4 月～）
 シニアリサーチャー：浦山ケビン（R3 年 4 月～）
 リサーチアソシエイト：森口ふさ江（R4 年 4 月～）
 共同研究員：小川浩平、鈴木朋、本多由紀子、小林実夏、可知悠子、大久保祐輔（～R4
 年 1 月）、安藤恵美子、原田正平、伊藤淳、藤原武男、大西香世、谷川朋幸、市瀬雄一、
 青木康太郎、山岡祐衣（～R3 年 3 月）、阿部恵理、越智真奈美、友利久哉、宮山千春、澤
 田なおみ、高畑香織、左勝則、三瓶舞紀子（R3 年 4 月～）、半谷まゆみ（R3 年 4 月～）、
 岡坂昌子（R3 年 4 月～）、近藤天之（R4 年 8 月～）、Nihal Rahman（R3 年 9 月～）、木下
 真里（R3 年 11 月～）、山内里奈（R3 年 12 月～）、藤井伽奈（R4 年 2 月～）、糸井しおり
 （R4 年 4 月～）、佐田文宏（R4 年 4 月～）、中田晋也（R4 年 10 月～）、物井綾香（R4 年
 11 月～）
 研究補助員：明田美和子、長谷川文香、保田桂（R3 年 2 月～）、小林早苗、三浦智子、三
 好しのぶ（R3 年 11 月～）、太田玲子（R3 年 12 月～）、中田晋也（R3 年 12 月～R4 年 9
 月）
 研究補助者：中野弘美（～R3 年 7 月）、

【国際共同研究】

1. University of Oxford (Prof Cathy Creswell 他): 新型コロナウイルスの流行がこどもの生
 活環境および精神面に与えている影響に関する前向き研究の国際比較研究
2. University of California, San Francisco: 日米で出生コホートをを用いた小児肥満に関する
 比較研究
3. Global Burden of Diseases Collaborative (GBDs): 幼少期曝露の成人期の健康に与える影
 響に関する研究
4. Childhood Leukemia International Consortium (CLIC): 世界の 15 の小児白血病疫学研究
 グループとの共同研究：小児白血病の環境・遺伝的要因に関するプール解析やメタ解
 析
5. International Childhood Cancer Cohort Consortium (I4C): 世界の 10 の大規模母子コホー
 ト（日本のエコチル調査を含む）との共同研究：小児がんの環境要因に関するプール
 解析
6. カリフォルニア大学サンディエゴ校：冠動脈病変合併川崎病患者に対するアトロバス
 タチンの安全性と薬物動態を検討する多施設共同第 I/IIa 相試験
7. Denmark National Birth Cohort Study、国立がんセンター及び日本の出生コホートとの
 共同研究：妊娠中の食事が出生児の体格に与える影響に関する研究
8. Norwegian Mother, Father and Child Cohort Study, Denmark National Birth Cohort Study と
 日本の出生コホートとの共同研究：妊娠中の葉酸摂取と小児がん発症との関連に関す
 る研究、妊娠中の食事の質と小児がん発症との関連に関する研究

【国内共同研究】

1. Japan Birth Cohort Consortium (JBiCC)：国内8つの出生コホートとの共同研究（環境・遺伝的要因に関するプール解析やメタ解析）（AMED）
2. 国立がんセンター（澤田典絵 他）：NCC 所有コホート（JPHC-NEXT）を用いた、幼少期曝露の成人期予後に与える影響に関する研究（JH）
3. 東北メディカルメガバンク（小原拓 他）：東北メディカルメガバンク地域コホートを用いた、幼少期曝露の成人期予後に与える影響に関する研究（AMED）
4. 新潟大学（村山伸子教授）：新型コロナ流行期における子どもの食事・栄養摂取状況に関する全国調査の実施（厚労科研）
5. 東京医科歯科大学（山岡結衣助教）：新型コロナ流行期における子どもの生活習慣と親子関係の変化に関する全国調査の実施と国際比較研究（JST SICORP）
6. 城西大学（大野佳子教授）：新型コロナウイルス感染症流行下における子どものメンタルヘルスへの影響に関するこどものコロナ×こどもアンケートの自由記述に関する二次解析研究（JST SICORP）
7. 株式会社 MTI：女性ヘルスケア・ビッグデータ解析研究：株式会社エムティーアイの月経日や基礎体温、性交日を記録するアプリ「ルナルナ」ビッグデータを用いた、同社と分子内内分泌研究部、不妊診療科、周産期・母性診療センター母性内科との共同研究（AMED）
8. 九州大学（諸隈誠一教授）：エコチル調査を用いた疫学研究（複数）
9. 神奈川県立医療センター（柴崎医師）：新生児 HIE 患者における MRI 所見の長期予後への活用に関する研究（基盤 C）
10. 千葉大学大学院公衆衛生学分野（尾内善広 教授）：川崎病の治療反応性・重症化に関連する遺伝素因の探索とそれに臨床的所見を加えた治療反応性予測モデルの開発（基盤 C）
11. 東京医科歯科大学医学部（藤原武男教授）：東京都足立区における子どもの健康と生活実態調査に関する研究
12. 慶應義塾大学こどもの機会均等研究センター（赤林英夫教授）：子どもの健康と発達に関する研究（科研費基盤 S）
13. 東京都立大学子ども・若者貧困研究センター（阿部彩教授）：子どもの貧困の影響に関する研究（学術変革領域研究(A)）
14. 国立成育医療研究センター政策科学研究部（竹原健二部長）：父親の育児参加に関する研究
15. 山梨大学（山縣然太朗教授）：甲州（旧塩山）プロジェクト（母子保健縦断研究）から、地域のニーズに応える疫学研究対人保健サービスに対する評価法に関する研究への協力
16. 浜松医科大学（宮入烈教授）：地域における感染症対策に係るネットワークの標準モデルを検証・推進するための研究(厚労科研)
17. 浜松医科大学（土屋賢治教授）：浜松母と子の出生コホート研究（HBC Study）のデータを用いた研究（AMED）
18. 東京大学（康永秀生教授・道端伸明助教）：DPC データを用いた小児の医療の質に関する研究
19. 東京医科歯科大学（伏見清秀教授・新城大輔准教授）：DPC データを用いた思春期の入院治療に関する研究(基盤 B)
20. 産業医科大学（楠原浩一教授他）、環境省国立水俣病総合研究センター(山本恵室長他)：エコチル調査を用いた疫学研究
21. 産業医科大学（辻真弓教授他）：環境中のマイクロプラスチックの人体への取り込みに関する研究
22. 国立環境研究所（大久保ひとみ他）：妊娠中の食事の質の評価方法に関する研究
23. 九州大学（山脇かおり他）：摂食障害入院患者の食生活に関する研究

24. 九州大学（山脇かおり他）：自閉症スペクトラムと ADHD 合併が行動・情緒に及ぼす影響に関する研究
25. 東京都総合医学研究所(西田淳志センター長他)：思春期のやせ願望が将来の精神疾患発症に及ぼす影響に関する研究

【研究の概要】

[電子的臨床研究基盤整備事業]

- 成育母子コホートのデータマネジメント業務を行い、0-6 歳までの収集データのクリーニングと整理を行い、院内外各研究者が利用できるように整備を行なった
- 6 ナショナルセンターで 2020 年に発行した「健康寿命延伸をめざした疾患横断的予防指針」の概要版を作成中
- 6 ナショナルセンターで運用しているコホートのデータ共有基盤を作成し、5 課題のプール解析を実施中
- 他ナショナルセンターで運用しているコホートのデータを解析し、出生体重と生活習慣病発症リスクの関係を分析中
- 全国出生コホートコンソーシアム(JBiCC)を 2022 年 4 月に立ち上げ
(<https://www.ncchd.go.jp/center/activity/jbicc/>)、国内 6 出生コホートのデータ共有基盤を作成し、実務者会議を設定、運用した。喫煙と妊娠高血圧症候群の関係についてアジア人でのメタ解析を実施し、欧米の既報との違いが遺伝的素因(SNP)による可能性があることを指摘した(Morisaki et al, J Epidemiology 2022) また、SGA の決定要因に関する人口寄与率に関する論文の論文投稿準備中である。

[新型コロナウイルス感染症の流行とその影響に関する研究]

- 当センター全職員における新型コロナウイルスの抗体検査の測定と心理社会的状況に関する縦断調査を 2021-2022 年に実施した。マインドフルネスが高いとバーンアウトのリスクが低いこと(Sampe et al, Frontiers in Psychiatry 2022), ワクチンリテラシーが高いと妊産婦や高齢者に、よりワクチン接種を勧めること(Maki et al, Vaccines 2022)などを報告した。
- インターネット調査「コロナ×こどもアンケート」を 2020 年 4 月～2021 年 12 月の計 6 回実施し(Hangai et al, Pediatrics International 2021)、緊急事態宣言下における子どもの受診控えは保護者の心理社会的因子により異なること（今井, 日本小児科学会雑誌, 2021）、保護者のメンタルヘルスが悪い家庭では子どもへの虐待的行動が多く、共感的に接している保護者は虐待的行動が少ないこと(Yamaoka et al, Child Abuse and Neglect 2020), COVID-19 対策下では「こどもの権利」が損なわれやすい事
(Yamaguchi, Pediatrics International 2021), 保護者の心理社会的因子により COVID-19 対策下におけるこどもの意見が異なること（大野, 公衆衛生学雑誌, 2021), こどもの QOL は 2020-2021 年にかけて改善を認めておらず、特に社会的制約が強い時期に QOL が下がっていること(Goto et al, Child and Adolescent Psychiatry and Mental Health 2022)を報告した。
- 保護者の心理・社会経済状況により全国から無作為抽出された小 5～中 4 の児童約 3000 名に対して新型コロナ流行下における親子の生活と健康への影響に関する縦断調査を立ち上げ、2020 年より年 1-2 回の調査を開始した。新型コロナウイルス感染症流行時における全国的な学校給食提供状況(田中, 保健医療科学雑誌 2021), 簡易給食の内容実態（小川, 栄養学雑誌 2021）を報告し、また緊急事態宣言中は特に低所得家庭や保護者の食・調理スキルが低い家庭で子どもの食事バランスが崩れていること
(Horikawa et al, Nutrients 2021, Horikawa et al Appetite 2022)コロナ下でインスタント食品の摂取量が特に低所得世帯で増えていることを報告した(Nihaal et al, Nutrients 2022)。頭痛・腹痛などの不定愁訴を週 1 回程度訴えている小中学生の約 3 割が抑うつ状態であることを報告し注意喚起を行った。

- 妊産婦および幼少児の母約 10000 名に対して実施したインターネット・パネル調査結果(JACSIS study)を大阪大学と共同実施し、2021 年夏時点で妊婦の約半数がワクチン接種に躊躇していたこと(Hosokawa et al, Journal of Epidemiology 2021)やワクチンリテラシーが低いとコロナワクチン忌避のリスクが高いことを報告した (Takahashi et al, Vaccine 2022)。

[アプリ「ルナルナ」を用いた女性ヘルスケア研究]

- 株式会社エムティーアイの月経日や基礎体温、性交日を記録するアプリ「ルナルナ」ユーザー約 2 万人の女性を対象に、メンタルヘルスや労働環境や家庭環境、仕事と家庭のバランスなどどのような社会心理的要因が性交頻度・妊孕性に影響を与えるのかを調べるコホート調査（計 6 回調査）を行った。
- 上記アプリ「ルナルナ」ユーザー約 1 万人の女性を対象に新型コロナウイルスワクチン接種が月経周期や妊孕性に与える影響を調べるコホート調査を行った。

[周産期関連データベース連携事業]

- 2020 年より日本産科婦人科学会（周産期登録、ART オンライン登録）、新生児臨床研究ネットワークの 3 データベースの担当で構成された周産期関連データベース連携検討会議を設定、運用している。
- 総合周産期センターを有する 6 病院における DPC データを収集し、母児連結および個人単位での主要指標の作成を行うプログラムの開発を行った。
- 日本産科婦人科学会周産期登録と DPC データから算出した指標（薬剤投与量、処置の有無、総医療費）を用いて複数の分析を実施している。
- 日本産科婦人科学会周産期登録と ART オンライン登録のリンケージを、確率的方法を用いて試みた。

[成育母子コホート研究]

- 2021 年度からコホート参加者の家族（本人・父・母）の 9 歳時点における食事摂取状況を把握する調査を実施している。
- 6 歳までの血液・検診・質問票等のデータ 18 ファイルをクリーニングし、解析用データとして提供する作業をした。さらに、その一部のデータについて集計した。
- 産後うつ程度により、3 歳児における栄養摂取状況が異なることを報告した (Kobayashi, J Nutrition and Metabolism 2022)
- 妊娠中の食生活パターンにより栄養摂取量が異なること、食事の時に噛む頻度が少ないと体重増加量が過剰になりやすいことを報告した。

[世田谷区における小児肥満研究]

- 2016 年から毎年、世田谷区における小児生活習慣病予防検診にて収集される問診票と質問票のデータ入力を行い、血液データと結合し、集計している。2018 年度より、世田谷区学校保健委員会/専門委員/生活習慣病予防委員会の協力機関となり、集計結果を世田谷区で年 1 回開催される専門委員会で報告している。2016-2021 年の 5 年分について学術論文として投稿予定である。
- 2015～2018 年度に実施した、小児生活習慣病予防検診対象者の父子介入プログラムについて、データ解析および論文執筆中である。

[既存の大規模データの二次解析研究]

- 日本産科婦人科学会周産期登録を用いて、胎盤癒着のリスク要因、双胎妊娠における体重増加不良と妊娠予後の関連、双胎妊娠において児の性別により妊娠予後が異なることなどを産科部門と報告した (Ogawa et al, Arch Gyn Obst 2022; Maeda, Int J Gyn Obst 2022; Funaki S Arch Gyn Obst 2022)
- 新生児臨床研究レジストリを用いて、分娩方法により 1.5 歳、3 歳時点の肥満度には有意差がないことを報告した (Murano et al, JAMA network Open 2021)

- 人口動態統計を用いた各種疾病（18 trisomy, 21 trisomy）を持つ児の直接死因を年齢別に報告した(Motegi et al, American J of Medical Genetics: Part A 2021)
- エコチルデータを用いて、重症悪阻で児の出生体重が小さくなる要因は妊娠中の体重増加量が少なくなりやすいことに起因していることを示し(Morisaki et al, BMC Pregnancy and Childbirth, 2022)、また日本人のための妊娠体重増加量を作成した(Morisaki et al, J Epidemiology, 2021)
- NDB データベースを用いて、小児かかりつけ診療科加算・AMR アクションプラン・小児抗菌薬適正使用支援加算などの医療政策効果を検証した (Okubo et al, Int J Epidemiol. 2022; Okubo et al, J Infect Chemother. 2021)
- DPC データベースを用いて、小児のコモンな入院疾患の診療パターンを分析した (Okubo et al. J Allergy Clin Immunol. 2021)
- DPC データベースを用いて、感染対策加算や抗菌薬適正使用チーム加算の医療政策効果を検証した (Okubo, et al. Journal of Hospital Infection 2022)
- 匿名加工医療情報データ (DPC) を用いて、思春期の精神医療の現状と課題を分析した。(論文投稿準備中)

[子育て環境と子どもの健康と発達に関する研究]

- 全国データを用いて、シングルマザーのメンタルヘルスの不調の割合を示した (Journal of Affective Disorders に掲載)
- 幼少期の親の離婚を経験した母親は、学歴が低くなりやすく、またその子どももメンタルヘルスの不調を経験しやすいことを示した (現在、Psychiatry and Clinical Neurosciences に投稿中)
- 父親の育児参加の効果に関する国内の研究の知見をまとめた (公衆衛生雑誌に掲載)
- 父親の乳児期の育児参加と子どもが16歳時点でのメンタルヘルスとの関連 (Journal of Affective Disorders に投稿中)

[子どもを産みやすい社会環境に関する研究]

- 高度不妊治療を始めた女性のメンタルの不調の割合や QOL の状況を示した (Scientific Reports に掲載)
- 高度不妊治療を始めた女性の治療に対する思いを分析し、治療のどのような側面が負担になっているのかを分析した (混合研究法 (Annals of Mixed Methods Research)に投稿中)
- 不妊治療によって子どもを出産した母親は、自然妊娠の母親に比べて児童虐待やボンディング障害 (子どもを可愛いと思えない) が生じやすいかを検証した (投稿準備中)

[東京都足立区実施の子どもの健康と生活実態調査に関連する研究]

- マルトリートメントを受けた経験とその後のメンタルヘルスとの関連が見られるのかを分析した (American Journal of Epidemiology に掲載)

[国際出生コホート連携]

- デンマークと日本の共同で妊娠の栄養摂取と出生時アウトカムについて、国立がんセンターの栄養疫学者とともに分析した (投稿準備中)
- 近年国際的にも健康食として注目され始めた北欧食、従来から国際的に注目を浴びている日本食で妊婦の食事の質を評価する dietary quality index をデンマーク、ノルウェー、アイスランドの各研究者とともに検討した。さらに、国際コホート連携プロジェクトのメタ解析で用いる dietary quality index の作成を実施した。
- 10万人規模の3つのコホート Denmark National Birth Cohort, Norwegian Mother, Father and Child Cohort Study 及びエコチル調査間でサプリメント使用に関する方法論の標準化を検討し、その結果をがんの国際連携会議である CLIC・I4C で発表した (投稿準備中)。

- ヨーロッパ 19 の国での魚介類と子どもの健康に関するプール研究で実施された方法を用いて、国立水俣病センターをはじめとした環境疫学の研究者とともに、日本の魚介類の環境汚染物質と子どもの健康についての検討をエコチル調査で行った（投稿準備中）。

[思春期のメンタルヘルスに関する研究]

- 東京ティーンコホートのデータを用いて、思春期やせとメンタルヘルスとの関連を東京ティーンコホート研究発表会で報告した。（論文投稿準備中）

[川崎病に関する研究]

- 川崎病と遺伝子の関連について、様々なアプローチからの研究推進を可能とするための体制を整備し、全国研究参加施設から収集を進めている（川崎病遺伝コンソーシアム）。
- 川崎病の治療反応性に要因を明らかにするために、対象症例の臨床的情報と遺伝的情報の分析を行っている。
- 川崎病既往者の早期教育的介入を実現するための教育体制を目指している。教育に関する実態調査を実施し、ニーズや課題の同定を行っている。

[小児血液がんの発生に関する研究]

- 東京小児がん研究グループ（TCCSG）および日本小児白血病リンパ腫研究グループ（JPLSG）と協力して、ゲノムワイド関連解析により小児白血病の発症リスクや予後に関連する遺伝子多型の同定を行っている。
- 国際メタ・ゲノムワイド関連解析により、小児白血病の発症リスクに関連する遺伝子多型の同定を行っている。
- 国内で症例対照研究を実施し、胎児期から幼少期の環境要因や遺伝素因がどのように相互作用して小児血液がんの発症に関与しているかを調べている。
- 国際プール解析により、胎児期の母体感染症が小児白血病の発症に及ぼす影響について調べている。

[小児血液がんの臨床成績に関する研究]

- 小児白血病の治療反応性や予後に関連する遺伝子多型を探索している。病態生理の理解や個別化医療の推進を目指している。
- 日本人白血病細胞株（共同研究者の山梨大学犬飼教授が樹立・保有）における抗がん剤感受性と遺伝子多型の関連を解析している。難治性白血病の治療体制メカニズムを解明することを目指している。

[小児がん経験者に関する研究]

- 小児白血病の治療反応性や予後に関連する遺伝子多型を探索している。病態生理の理解や個別化医療の推進を目指している。
- 日本人白血病細胞株（共同研究者の山梨大学犬飼教授が樹立・保有）における抗がん剤感受性と遺伝子多型の関連を解析している。難治性白血病の治療体制メカニズムを解明することを目指している。
- 小児がん経験者の心理社会的課題を探索している。これらの課題の共有により、小児がん経験者の心理社会的 QOL 向上を目指し、「Story みんなの物語」プロジェクトを立ち上げた。

【令和3年研究業績】

1. 誌上発表

(1). 英文原著

1. Yokomizo R, Nakamura A, Sato M, Nasu R, Hine M, Urayama KY, et al. Smartphone application improves fertility treatment-related literacy in a large-scale virtual randomized controlled trial in Japan. NPJ digital medicine. 2021;4(1):163.
2. Yamaoka Y, Hosozawa M, Sampei M, Sawada N, Okubo Y, Tanaka K, et al. Abusive and positive parenting behavior in Japan during the COVID-19 pandemic under the state of emergency. Child abuse & neglect. 2021;120:105212.
3. Wojcicki JM, Tsuchiya KJ, Murakami K, Ishikuro M, Obara T, Morisaki N. Limited consumption of 100% fruit juices and sugar sweetened beverages in Japanese toddler and preschool children. Preventive medicine reports. 2021;23:101409.
4. Suto M, Miyazaki C, Yanagawa Y, Takehara K, Kato T, Gai R, et al. Overview of Evidence Concerning School-Based Interventions for Improving the Health of School-Aged Children and Adolescents. The Journal of school health. 2021;91(6):499-517.
5. Suto M, Isayama T, Morisaki N. Population-Based Analysis of Secular Trends in Age at Death in Trisomy 18 Syndrome in Japan from 1975 to 2016. Neonatology. 2021;118(1):47-53.
6. Shibata M, Ogawa K, Kanazawa S, Kawasaki M, Morisaki N, Mito A, et al. Association of maternal birth weight with the risk of low birth weight and small-for-gestational-age in offspring: A prospective single-center cohort study. PloS one. 2021;16(5):e0251734.
7. Shibasaki J, Niwa T, Piedvache A, Tomiyasu M, Morisaki N, Fujii Y, et al. Comparison of Predictive Values of Magnetic Resonance Biomarkers Based on Scan Timing in Neonatal Encephalopathy Following Therapeutic Hypothermia. The Journal of pediatrics. 2021;239:101-9.e4.
8. Piedvache A, van Buuren S, Barros H, Ribeiro AI, Draper E, Zeitlin J. Strategies for assessing the impact of loss to follow-up on estimates of neurodevelopmental impairment in a very preterm cohort at 2 years of age. BMC medical research methodology. 2021;21(1):118.
9. Okubo Y, Nariai H, Michels KB, Kim-Farley RJ, Nishi A, Arah OA, et al. Change in clinical practice variations for antibiotic prescriptions across different pediatric clinics: A Japan's nationwide observational study. Journal of infection and chemotherapy : official journal of the Japan Society of Chemotherapy. 2021;27(11):1621-5.
10. Numaguchi A, Mizoguchi F, Aoki Y, An B, Ishikura A, Ichikawa K, Ito Y, Uchida Y, Umemoto M, Ogawa Y, Osamura T, Obonai M, Kaneko K, Kamizono J, Kizaki Z, Kinoshita A, Kurihara Y, Konishi N, Sato A, Shibano S, Senda M, Takizawa T, Nakabayashi Y, Nerome Y, Murata Y, Morisaki N, Yoshimura K, Kawano Y, Kobayashi M, Okumura A. Epidemiology of child mortality and challenges in child death review in Japan: The Committee on Child Death Review: A Committee Report: The Committee on Child Death Review: A Committee Report. Pediatrics international : official journal of the Japan Pediatric Society. 2022;64(1):e15068..
11. Murano Y, Shoji H, Ikeda N, Okawa N, Hayashi K, Kantake M, Morisaki N, Shimizu T, Gilmour S. Analysis of Factors Associated With Body Mass Index at Ages 18 and 36 Months Among Infants Born Extremely Preterm. JAMA network open. 2021;4(10):e2128555.
12. Morisaki N, Piedvache A, Nagata C, Michikawa T, Morokuma S, Kato K, et al. Maternal blood count parameters of chronic inflammation by gestational age and their associations with risk of preterm delivery in the Japan Environment and Children's Study. Scientific reports. 2021;11(1):15522.
13. Morisaki N, Piedvache A, Morokuma S, Nakahara K, Ogawa M, Kato K, et al. Gestational weight gain growth charts adapted to Japanese pregnancies using a Bayesian approach in a longitudinal study: The Japan Environment and Children's Study. Journal of epidemiology. 2021.
14. Kobayashi M, Ogawa K, Morisaki N, Tanaka H, Horikawa R, Urayama KY. Relationship between Maternal Mood Disorders and Dietary Intake of 3-Year-Olds. Journal of nutrition and metabolism. 2021;2021:5597836.

15. Kato T, Takehara K, Suto M, Sampei M, Urayama KY. Psychological distress and living conditions among Japanese single-mothers with preschool-age children: An analysis of 2016 Comprehensive Survey of Living Conditions. *Journal of affective disorders*. 2021;286:142-8.
16. Kato T, Sampei M, Saito K, Morisaki N, Urayama KY. Depressive symptoms, anxiety, and quality of life of Japanese women at initiation of ART treatment. *Scientific reports*. 2021;11(1):7538.
17. Kashima K, Kawai T, Nishimura R, Shiwa Y, Urayama KY, Kamura H, et al. Identification of epigenetic memory candidates associated with gestational age at birth through analysis of methylome and transcriptional data. *Scientific reports*. 2021;11(1):3381.
18. Horikawa C, Murayama N, Kojima Y, Tanaka H, Morisaki N. Changes in Selected Food Groups Consumption and Quality of Meals in Japanese School Children during the COVID-19 Pandemic. *Nutrients*. 2021;13(8).
19. Hangai M, Piedvache A, Sawada N, Okubo Y, Sampei M, Yamaoka Y, et al. Children's daily lives and well-being: Findings from the CORONA-CODOMO survey 1st wave. *Pediatrics international : official journal of the Japan Pediatric Society*. 2021;64(1):e14981.
20. Doi R KM, Ogawa K, Morisaki N, Jwa CS, Fujiwara T. Validity of Dietary Patterns Extracted from the Food Intake Frequency Questionnaires of Japanese Pregnant Women. *Journal of Human Nutrition & Food Science*. 2021(9(1): 1140).
21. Dhungel B, Tsuguhiko K, Ochi M, Gilmour S, Kachi Y, Takehara K. Association of child's disability status with father's health outcomes in Japan. *SSM - population health*. 2021;16:100951.
22. Dhungel B, Tsuguhiko K, Kachi Y, Ochi M, Gilmour S, Takehara K. Prevalence of and associated factors for psychological distress among single fathers in Japan. *Journal of epidemiology*. 2021.
23. Broderick C, Kobayashi S, Suto M, Ito S, Kobayashi T. Intravenous immunoglobulin for the treatment of Kawasaki disease. *Cochrane Database of Systematic Reviews*. 2021(6).
24. Boonpiyathad T, Tantilipikorn P, Ruxrungtham K, Pradubongsap P, Mitthamsiri W, Piedvache A, et al. IL-10-producing innate lymphoid cells increased in patients with house dust mite allergic rhinitis following immunotherapy. *The Journal of allergy and clinical immunology*. 2021;147(4):1507-10.e8.
25. Aoki A, Niimura M, Kato T, Takehara K, Iida J, Okada T, et al. Trajectories of Healthcare Utilization Among Children and Adolescents With Autism Spectrum Disorder and/or Attention-Deficit/Hyperactivity Disorder in Japan. *Frontiers in psychiatry*. 2021;12:812347.

(2). 英文総説・著書

(3). 和文抄録・著書・総説

[抄録]

1. 半谷まゆみ（コロナ×こども本部）. コロナ禍における子どもたちの生活と健康. 「あきた小児保健第 57 号」 特別講演抄録 2021.09.01

[著書]

1. 森崎菜穂：第 A-1 章 子どもの疫学. 小児保健ガイドブック, 診断と治療社 P20-23 (2021 年 4 月 22 日 初版第 1 刷発行)
2. 大塚美耶子、越智真奈美、可知悠子、加藤承彦、新村美知、竹原健二：末子が未就学児の子どもを持つ父親の労働日における生活時間 厚生指標 2021;68:15
3. 大久保祐輔：ウイルスがからだにはいると、どうなるの? (1) めからはいりやすいウイルスのはなし. 岩崎書店. 2021

[総説]

1. 森崎菜穂：統計学的分析手法～仮説検定の考え方 小児科診療, 診断と治療社 2021 年 6 月(47) 721-724
2. 森崎菜穂：統計学的分析手法～生存分析/カプランマイヤー法 小児科診療, 診断と治療社 2021 年 6 月(47) 755-759
3. 森崎菜穂：DOHAD 研究 疫学の事典. 朝倉書店 2021

4. 森崎菜穂：日本および先進国の超早産分娩数の推移. 周産期医学 2021 年 51 巻 8 号 P1099-1102
5. 森崎菜穂：妊婦の栄養管理と低出生体重児との関連 臨床助産ケア 2021 年 9・10 月号
6. 森崎菜穂： コロナ禍と子どものころ 母子保健 2021 年 9 月号 P8-9.
7. 大久保祐輔： Causal Diagram について. 小児科診療. 2021 ; 84 : 773-779
8. 大久保祐輔： 傾向スコアを利用した解析と g-method. 小児科診療. 2021 ; 84 : 781-787
9. 大久保祐輔： 操作変数法 (instrument variable). 小児科診療. 2021 ; 84 : 789-795
10. 大久保祐輔： DPC データにみる診療体制と医療経済への影響. 小児科診療. 診断と治療社, 2021;84
11. 大久保祐輔： Synthetic Control Method. 小児科診療. 2021 ; 84 : 813-818
12. 三瓶舞紀子, 藤原武男, 伊角彩： 妊娠期における乳幼児揺さぶられ症候群の教育的動画視聴による知識向上効果の検証. 日本公衆衛生雑誌. 68 巻 6 号:393-40
13. 今井健太; 三瓶舞紀子; Piedvache Aurelie; 大久保祐輔; 澤田なおみ; 細澤麻里子; 山岡祐衣; 田中恭子; 石黒精; 半谷まゆみ; 森崎菜穂: 緊急事態宣言下における子どもの受診控えと保護者の心理社会的因子の関連. 日本小児科学会雑誌. 2021
14. 加藤承彦, 越智真奈美, 可知悠子, 須藤 茉衣子, 大塚美耶子, 竹原健二: 父親の育児参加が母親、子ども、父親自身に与える影響に関する文献レビュー. 日本公衆衛生雑誌. 2021
15. 田中久子, 小島唯, 堀川千嘉, 村山伸子, 森崎菜穂: 新型コロナウイルス感染症流行時における全国的な学校給食の実態. 保健医療科学雑誌. 2021

2. 学会発表

- (1). 国際学会講演・シンポジウム・招待講演
 1. Hangai M, Simona Skripkauskaitė. Session “Hope for the best, prepare for the worst - how cooperation in STI research today can save us from future crises”. 国際学会, 招待講演 Tsukuba Conference 2021 筑波市 2021.09.24
 2. 森崎菜穂. EARLY LIFE AND HEALTHY AGING. 講演 India-Japan Webinar on Celebration of International Woman's Day 東京, 駐日インド大使館 2021.03.08
- (2). 国際学会一般演題発表
- (3). 国内学会講演・シンポジウム・招待講演・教育講演・特別講演
 1. 森崎菜穂. 小児肥満の治療ガイドラインについて. 指定発言 第 10 回アジア栄養ネットワークシンポジウム オンライン 2022.01.18
 2. 森崎菜穂. 科学技術・イノベーション基本計画に向けての将来ビジョン～ポストコロナ時代を見据えた国研の将来像とチャレンジ～. 討論 第 5 回国立研究開発法人イノベーション戦略会議 オンライン 2021.02.24
 3. 森崎菜穂. プレコンセプションケアで伝えるべき、生活習慣等と妊娠率に関する疫学的エビデンス 「助産師が行うプレコンセプションケア」. シンポジウム 第 35 回日本助産学会学術集会 オンライン 2021.03.20
 4. 森崎菜穂. 胎児期・幼少期の環境要因暴露が健康に与える影響. シンポジウム 第 94 回日本内分泌学会学術総会 オンライン 2021.04.23
 5. 森崎菜穂. 「妊婦の体重制限の見直しについて、これまでの背景や今後の課題」. 講演 ヘルシーマザリングプロジェクト勉強会 オンライン 2021.05.19
 6. 森崎菜穂. 統合メタ解析のプロセスと進捗状況～BIRTHDAY 研究班から～. セミナー 第 23 回 DOHAD 疫学セミナー オンライン 2021.10.09
 7. 森崎菜穂. 本邦の周産期関連データベースから読み取れる胎児期・新生児期環境と長期予後. シンポジウム 日本人類遺伝学会第 66 回大会 横浜 2021.10.16
 8. 森崎菜穂. 乳幼児の身体成長曲線の作成と利用をかんがえる. 企画セッション 第 54 回日本小児内分泌学会学術集会 オンライン 2021.10.28

9. 森崎菜穂. 低出生体重児と妊娠体重増加について. 東京栄養サミットサイドイベント 東京栄養サミット 2021 厚生労働省サイドイベント「日本の母子栄養改善の取組」 東京 2021.12.07
 10. 大久保祐輔. 小児科外来の未来を語ろう：最新のシステムティックレビューとメタ解析からみた小児のかぜ薬のエビデンス. シンポジウム 第30回日本外来小児科学会 京都 2021.08.21
 11. 半谷まゆみ (コロナ×こども本部). 子どもたちの生活と健康に関する調査. フォーラム 大阪府医師会【緊急フォーラム】新型コロナウイルス感染症から子どもたちを守りたい～今・学校ができることを考える 大阪府医師会館及びWEB 配信 2021.01.09
 12. 半谷まゆみ (コロナ×こども本部). コロナ禍におけるこどもたちへの影. 講演 第65回西宮市学校保健研究大会, 西宮市学校保健研究大会 オンライン 2021.02.18
 13. 半谷まゆみ (コロナ×こども本部). 新型コロナで変わった子どもたちの日常—コロナ×こどもアンケートより 招待講演 第30回日本外来小児科学会年次集会 京都 オンラインハイブリッド 2021.04.04
 14. 半谷まゆみ, 長谷川文香, 三瓶舞紀子, Piedvache Aurelie, 岡坂昌子, 越智真奈美, 石塚一枝, 大久保祐輔, 澤田なおみ, 山口有紗, 山岡祐衣, 細澤麻里子, 田中恭子, 森崎菜穂, 五十嵐隆. コロナ禍における子どもたちのこころとからだ—コロナ×こどもアンケート・全国調査より—. 基本シンポジウム 第68回日本小児保健協会学術集会 WEB 開催 2021. 06.18～06.20
 15. 半谷まゆみ (コロナ×こども本部). コロナ×こどもアンケートの結果より、こどもたちや保護者への対応のヒント. 講演 大阪市住吉区東部人権教育研究協議会『夏季研修会』 オンライン 2021.07.21
 16. 半谷まゆみ (コロナ×こども本部). 新型コロナウイルス感染症流行のこどもへの影響. 研修会招待講演 東京都学校保健会研修会 動画配信 2021.10.
 17. 半谷まゆみ (コロナ×こども本部). コロナ禍における子どもたちの生活と健康. 特別講演 第59回秋田県小児保健会総会特別講演 オンライン 2021.10.16
 18. 半谷まゆみ (コロナ×こども本部). 「コロナ禍における高校生以下のこどもたちのこころ」. シンポジウム 国立情報学研究所 大学等におけるオンライン教育とデジタル変革に関するサイバーシンポジウム「教育機関 DX シンポ」 オンライン 2021.10.29
 19. 山口有紗 (コロナ×こども本部). コロナ禍における子供たちへの影響. 招待講演 兵庫県西宮市令和3年度家庭教育講演会 オンライン 2021.09.22
 20. 山口有紗 (コロナ×こども本部). コロナ禍の子どもたちのこころ—コロナ×こどもアンケート・全国調査より— 招待講演 新潟県医師会主催学校保健研修会 オンライン 2021.10.15
 21. 澤田なおみ (コロナ×こども本部). コロナ禍におけるこどもたちのこころとからだ～コロナ×こどもアンケートより～. 基調講演 令和3年度 子ども健康フォーラム島根 オンライン 2021.10.21
- (4). 国内学会一般演題
1. 澤田なおみ (コロナ×こども本部). COVID-19 流行下におけるこどもと保護者を対象とした生活と健康に関するオンライン調査 (コロナ×こどもアンケート), 口頭発表 第124回日本小児科学会学術集会 京都 2021.04.16

【研究費】

公的研究費（研究代表者）

〔文部科学省科学研究費〕

1. 浦山ケビン 科学研究費助成事業（科学研究費補助金）基盤研究(B) 研究課題名「小児白血病の発症要因および生存者の医学的・社会的予後に関する包括的な疫学研究

究」(2018年度～2021年度)

3,380千円；間接経費含む(2021年度総額)

2. 加藤承彦 科学研究費助成事業(学術研究助成基金助成金)基盤研究(C) 研究課題名「不妊治療患者の現状および必要とされる公的支援に関する研究」(2021年度～2023年度)
2,470千円；間接経費含む(2021年度総額)
3. 小林しのぶ 科学研究費助成事業(学術研究助成基金助成金)基盤研究(C) 研究課題名「臨床・遺伝的情報を用いた川崎病患者における高精度治療反応性予測モデルの開発」(2020年度-2022)年度
1,300千円；間接経費含む(2021年度総額)
4. 森崎菜穂 国際共同研究事業英国との国際共同研究プログラム(JRP-LEAD with UKRI)(和文) 新型コロナウイルス流行下における日英の親子の精神的健康とニーズの推移分析から学ぶ
(英文) Learning from the trajectories of mental health challenges for children, young people and parents across Japan and UK over the course of the COVID-19 pandemic: a mixed method analysis」(2021年度～2024年度)
6,206千円；間接経費含む(2021年度総額)

〔厚生労働科学研究費〕

1. 森崎菜穂 「循環器疾患・糖尿病等生活習慣病対策総合研究事業」 研究課題名「新型コロナウイルス感染症流行による子どもの食生活変化とその社会経済的要因の解明のための研究」(2021年度～2022年度)
4,940千円；間接経費含む(2021年度総額)

〔国立研究開発法人科学技術振興機構国際科学技術共同研究推進事業(戦略的国際共同研究プログラム)〕

1. 森崎菜穂 SICORP 非医療分野における新型コロナウイルス感染症(COVID-19)関連研究 研究課題名「新型コロナウイルス感染症(COVID-19)による子どもの生活と健康への影響およびその関連因子に関する日欧比較研究」(2021年度～2022年度)
5,500千円；間接経費含む(2021年度総額)

〔国立高度専門医療研究センター医療研究連携推進本部横断的研究推進費〕

1. 森崎菜穂 6NC2021 横断的研究推進組織に関する研究事業 研究課題名「電子化医療情報を活用した疾患横断的コホート研究情報基盤整備事業」(2021年度)
7,350千円；間接経費含む(2021年度総額)

〔成育医療研究開発費〕

1. 石塚一枝 成育医療研究開発費(2021C-30) 石塚 研究課題名「思春期の起立性調節障害の予後因子モデル作成」(2021年度)
1,120千円；間接経費含む(2021年度総額)
2. 半谷まゆみ 成育医療研究開発費(2021C-1) 半谷 研究課題名「新型コロナ流行期におけるこどもの健康・生活に関する全国調査」(2021年度)
1,600千円；間接経費含む(2021年度総額)

公的研究費（研究分担者）

〔国立研究開発法人日本医療研究開発機構〕

1. 森崎菜穂 成育疾患克服等総合研究事業(AMED-BIRTHDAY) 研究課題名「出生コホート連携に基づく胎児期から乳幼児期の環境と母児の予後との関連に関する研究」栗山進一（東北大学）（2019年度～2023年度）
910千円；間接経費含む（2021年度分担額）
2. 森崎菜穂 成育疾患克服等総合研究事業 (AMED-WISE) 研究課題名「プレコンセプションの女性に着目した疾患予防に関する総合的ケア方法の確立ー妊孕能低下予防・妊合併症リスクの低減を目指したプレコンセプション女性に対する包括的支援プログラムの開発」甲賀かをり（東京大学）（2019年度～2021年度）
500千円；間接経費含む（2021年度分担額）
3. 森崎菜穂 成育疾患克服等総合研究事業(AMED-BIRTHDAY) 研究課題名「周産期・小児領域における高品質臨床研究推進のための臨床研究コンソーシアム」小林徹（成育） 主任一括計上

〔文部科学省科学研究費〕

1. 森崎菜穂 科学研究費助成事業（科学研究費補助金）基盤研究（C） 研究課題名「産科分娩施設へのアクセスと妊娠帰結に関する全国疫学研究」馬場幸子（大阪大学）（2020年度～2022年度）
39千円；間接経費含む（2021年度分担額）
2. 森崎菜穂 科学研究費助成事業（科学研究費補助金）基盤研究(B) 研究課題名「低出生体重児出生予防のための妊娠期パーソナライズドアプリケーションの開発と検証」大田えりか（聖路加国際大学大学院）（2020年度）
130千円；間接経費含む（2021年度分担額）
3. 森崎菜穂 科学研究費助成事業（学術研究助成基金助成金）基盤研究（C） 研究課題名「新生児低酸素性虚血性脳症の発達予後予測マーカーの確立」柴崎淳（神奈川県立こども医療センター）（2020年度～2022年度）
130千円；間接経費含む（2021年度分担額）
4. 森崎菜穂 科学研究費助成事業（科学研究費補助金）基盤研究（B） 研究課題名「質的価等を小児医療提供体制に還元するモデル基盤の確立に関する研究」新城大輔（東京医科歯科大学大学院）（2020年度～2023年度）
130千円；間接経費含む（2021年度分担額）
5. 森崎菜穂 科学研究費助成事業（学術研究助成基金助成金）基盤研究（C） 研究課題名「プレコンセプションケアの行動的リスクに関するアプリを用いた教育プログラムの開発」三瓶舞紀子（日本体育大学）（2021年度～2024年度）
65千円；間接経費含む（2021年度分担額）
6. 浦山ケビン 科学研究費助成事業（学術研究助成基金助成金）基盤研究（C） 研究課題名「小児 AYA 世代のがん経験者や家族の知的・身体的レジリエンスを評価・支援する研究」末延聡一（大分大学医学部）（2021年度～2024年度）
195千円；間接経費含む（2021年度分担額）
7. 加藤承彦 科学研究費助成事業（学術研究助成基金助成金）基盤研究（B） 研究課題名「子育て期の父親における、仕事と家事・育児の両立のあり方に関する包括的な

研究」竹原健二（成育政策科学研究部）（2021 年度～2023 年度）
100 千円；間接経費含む（2021 年度分担額）

8. 加藤承彦 科学研究費助成事業（科学研究費補助金）基盤研究（S） 研究課題名「ポストコロナの教育格差研究：世界的課題の解明とオンラインでの調査・実験手法の革新」赤林英夫（慶應義塾大学）（2021 年度～2025 年度）
195 千円；間接経費含む（2021 年度分担額）
9. Aurelie Piedvache 科学研究費助成事業（学術研究助成基金助成金）基盤研究（C）研究課題名「プレコンセプションケアの行動的リスクに関するアプリを用いた教育プログラムの開発」三瓶舞紀子（日本体育大学）（2021 年度～2024 年度）
65 千円；間接経費含む（2021 年度分担額）

〔厚生労働科学研究費〕

1. 森崎菜穂 成育疾患克服等次世代育成基盤研究事業(健やか次世代育成総合研究事業) 研究課題名「成育基本法を地域格差なく継続的に社会実装するための研究」山縣然太郎（山梨大学大学院）（2021 年度～2023 年度）
480 千円；間接経費含む（2021 年度分担額）
2. 森崎菜穂 成育疾患克服等次世代育成基盤研究事業(健やか次世代育成総合研究事業) 研究課題名「乳幼児の発育・発達、栄養状態の簡易な評価手法の検討に関する研究」横山徹爾（国立保健医療科学院）（2021 年度～2023 年度）
1,200 千円；間接経費含む（2021 年度分担額）

〔成育医療研究開発費〕

1. 浦山ケビン 成育医療研究開発費（29-3）松本 研究課題名「NCCHD lifetime cohort を基盤とした小児血液・腫瘍患者の長期フォローアップ情報の収集」松本公一（小児がんセンター）（2017 年度～2021 年度）
1,000 千円；間接経費含む（2021 年度総額）

〔国立高度専門医療研究センター医療研究連携推進本部横断的研究推進費〕

1. 森崎菜穂 JH2020-B-09 研究課題名「ナショナルセンター職員における 新型コロナウイルス感染症の実態と要因に関する多施設共同観察研究」山口晃史（成育周産期・母性診療センター）（2020 年度～2023 年度）
10,000 千円；間接経費含む（2021 年度総額）

私的研究費（研究代表者）

1. 浦山ケビン 公益財団法人三菱財団 研究課題名「小児がん患者・経験者の心理社会的困難共有ツールの開発-仲間を感じる・自分を想うプロジェクト」（2020 年度～2022 年度）
6,700 千円；間接経費含む（2021 年度総額）
2. 半谷まゆみ 公益財団法人小児医学研究振興財団助成金 研究課題名「新型コロナ流行に伴うこどもの精神的健康に関する全国調査」（2021 年度）
750 千円；間接経費含む（2021 年度総額）

私的研究費（研究分担者）

1. 浦山ケビン 公益財団法人武田科学財団 研究課題名「集学的アプローチによる人の性の多様性の解明」深見真紀（成育分子内分泌研究部）（2019 年度～2024 年度）
主任一括計上；間接経費含む

【その他】

(1). [教育活動]

森崎菜穂

1. 東京大学大学院医学系研究科 非常勤講師
2. 東京医科歯科大学大学院医歯学総合研究科（医療政策情報学分野）非常勤講師
3. 聖路加国際大学公衆衛生大学院 非常勤講師

加藤承彦

1. 聖路加国際大学公衆衛生大学院客員准教授
2. 東京都立大学客員准教授

(2). [社会貢献]

森崎菜穂

1. 国際学術誌 査読 10 本以上
2. 日本小児科学会 情報管理委員会委員
3. 日本産科婦人科学会 周産期委員会 小委員会委員
4. 日本小児保健協会 若手による小児保健検討委員会委員
5. DOHAD 学会 学術委員会委員
6. 世田谷区教育委員会 生活習慣病予防委員会委員
7. Perinatal and Pediatric Epidemiology 編集委員会, Associate Editor
8. WHO Guideline Development Group “Integrated management of children in all their diversity with obesity”, Expert

加藤承彦

1. 国際学術誌 査読 10 編以上
2. Asian Population Studies editorial board

石塚一枝

1. 国際学術誌 査読 20 編以上
2. 日本小児心身医学会 編集委員
3. 日本小児心身医学会 第3版 診療ガイドライン作成 WG 委員
4. 日本小児心身医学会 代議員

(3). [受賞]

(4). [研究所運営への貢献]

森崎菜穂

1. 共同研究管理委員会

加藤承彦

1. 倫理予備審査委員会社会医学部会
2. 防災対策ワーキンググループ
3. 動物実験委員会委員

[プレスリリース・広報活動・その他]

(1). [プレスリリース]

1. コロナ×こども本部 「コロナ×こどもアンケート」第4回調査報告 15%～30%のこどもに中等度以上のうつ症状～こどもたちの SOS を見逃さないで～ 2021.02.10
2. 社会医学研究部（加藤承彦） 一人で乳幼児を育てているシングルマザーの 約9人に1人が「こころの不調」の可能性 ～社会から孤立しているため、積極的な支援が必要～ 2021.03.24
3. 社会医学研究部（加藤承彦） 体外受精などの高度不妊治療を受ける女性の約半数が治療開始初期の段階で、すでに軽度以上の抑うつ症状あり 2021.04.15

4. コロナ×こども本部 「コロナ×こどもアンケート」第5回調査報告先生や大人に相談しづらくなっているこどもたち過半数 身体的・精神的健康低下の可能性も
2021.05.25
5. 社会医学研究部（森崎菜穂） コロナ流行下のこどもの食事への影響に関する全国調査緊急事態宣言中での食事の質の低下、低所得家庭により大きな影響食材を選ぶ経済的余裕がない 2021.08.24
6. 社会医学研究部（森崎菜穂） 約 10 万人の妊婦健診情報から「妊娠中の体重増加曲線」を作成妊娠中の体重管理の参考になることを期待 2021.09.28
7. コロナ×こども本部 「コロナ×こどもアンケート」第6回調査報告学校に行きたくないこどもが 38%～オンライン授業・ワクチン接種に関する賛否分かれる～
2021.11.17

(2). [報告書・啓発パンフレット]

1. コロナ×こども本部 コロナ×こども会議 報告書 2021.01.15
2. コロナ×こども本部 第4回コロナ×こどもアンケート調査報告書 2021.02.10
3. コロナ×こども本部 第4回コロナ×こどもアンケート調査報告ダイジェスト版
2021.02.10
4. コロナ×こども本部 第4回コロナ×こどもアンケート悩んでいること・困っていること 2021.03.11
5. コロナ×こども本部 「教育機関向け資料」with コロナのいま こどもたちの生活とこころの様子 2021.03.15
6. コロナ×こども本部 第5回調査報告ダイジェスト版コロナ×こどもアンケート
2021.05.25
7. コロナ×こども本部 第5回コロナ×こどもアンケートこどもが考えた「気持ちを楽にする23のくふう」 2021.05.25
8. コロナ×こども本部 新型コロナ変異ウイルスについて 2021.05.07
9. コロナ×こども本部 第5回調査報告書コロナ×こどもアンケート 2021.05.25
10. コロナ×こども本部 コロナ×こどもアンケート第5回調査報告ダイジェスト版（英語版） 2021.06.08
11. コロナ×こども本部 第5回コロナ×こどもアンケートこどもたちの「この一年をふりかえって」 2021.06.08
12. コロナ×こども本部 第6回調査報告書「コロナ×こどもアンケート」 2021.11.17
13. コロナ×こども本部 第6回調査報告ダイジェスト版【コロナ×こどもアンケート】
2021.11.17
14. コロナ×こども本部 第6回【コロナ×こどもアンケート】学校とオンライン授業への気持ち 2021.11.17
15. コロナ×こども本部 コロナ×こどもアンケート第6回調査報告ダイジェスト版（英語版） 2021.12.21

(3). [メディア出現数]

全国紙 53 件、テレビ 61 件、ラジオ 1 件、業界メディア 46 件、雑誌 10 件、地方紙 180 件、ウェブ 312 件、英字・海外 23 件 （一部抜粋）

- 現代ビジネス, ウェブ, プレスリリース, 1/7/2021, 「「わたしが死ねばよかった…」女子高生がずっと抱いていた「罪悪感の正体」
- 日本経済新聞 電子版, ウェブ, プレスリリース, 2/9/2021, 「不妊治療支援へ企業も動く 2割が退職、人材つなぎとめ」
- フジテレビ めざましテレビ, テレビ, プレスリリース, 2/12/2021, 「子供の15%以上に鬱症状」
- NHK world, ウェブ, 未定, 2/13/2021, 「What to expect when children are infected」

- FNN プライムオンライン, ウェブ, 取材依頼, 2/15/2021, 「小学4～6年生の15%に「うつ症状」・・・コロナ禍で心の健康が悪化? 親ができる対処法を医師で聞いた」
- The Japan Times, ウェブ, 転載, 2/17/2021, 「School 1 -age suicides in Japan hit record in 2020」
- Forbes, ウェブ, プレスリリース, 2/20/2021, 「大人も子どもも、コロナ禍の「イライラ」急増中 どう対処するのが正解?」
- 化学工業日報, 業界メディア, プレスリリース, 2/22/2021, 「国立がん研など6機関、健康寿命延ばす行動で提言」
- 朝日新聞, 全国紙, 取材依頼, 2/24/2021, 「(コロナお困り相談室) 子のストレス 在宅勤務も増えて、娘が乱暴に」
- 糖尿病リソースガイド, 業界メディア, プレスリリース, 2/25/2021, 「【新型コロナ】コロナ禍で子供の15～30%に中等度以上のうつ症状が 保護者のうつも深刻 成育医療研究センターが調査」
- International News, ウェブ, 講演, 3/10/2021, 「Women Achievers From India & Japan Stress on Determination&Patience In Overcoming Challenges」
- 薬事日報, 業界メディア, 未定, 3/15/2021, 「<記事>成育医療セ・松本氏「PEGが副反応原因」-コロナワクチン接種」
- 日本BS放送「報道ライブ インサイドOUT」, テレビ, プレスリリース, 3/25/2021, 「コロナが肥満・認知症を誘発! 究極の予防法とは」
- The Japan Times(web), 英字・海外, プレスリリース, 4/4/2021, 「The Possibilities (and perils) of Japan's Youth spending more time online」
- 日本経済新聞, 全国紙, 取材依頼, 4/19/2021, 「コロナ下の「心の不調」、不安を抱える子 親も悩むー地域ぐるみの対応必要」
- 京都新聞, 地方紙, 転載, 4/17/2021, 「張する未来 AIと共に 医療編(3) 不妊治療 「最適」精子を瞬時判別 データ解析、作業時間減」
- Nippon.com, 英字・海外, 転載, 4/20/2021, 「Japanese Survey Finds Single Mothers Need Proactive Support」
- 朝日新聞, 全国紙, 取材依頼, 4/23/2021, 「心の不調、9人に1人 親同居でないシングルマザー」
- AERA.dot, ウェブ, プレスリリース, 4/25/2021, 「旭川女子中学生凍死事件はなぜ起きたのか 「心のホームレス状態」を見逃さないで<dot.>」
- 神戸新聞, 地方紙, 転載, 4/26/2021, 「<最新テクノロジー 医療近未来>(3) 不妊治療 最適な精子、AIが判別」
- 琉球新報, 地方紙, 転載, 4/30/2021, 「コロナ差別 正しい知識を／啓発進む一方、負の感情も／「治っても遊びたくない」「感染したら秘密にしたい」／専門家「子どもの不安受け止めて」」
- 読売新聞, 全国紙, 転載, 5/1/2020, 「子どもの心 コロナ襲う 生活変化ストレス GW明け注意」
- 愛媛新聞, 地方紙, 転載, 5/5/2021, 「子どものSOS 連休明け注意を コロナ下で自殺深刻化 寄り添う大人必」
- Genetique フランス語の生命倫理ニュースサイト, 英字・海外, 転載, 5/3/2021, 「La majorité des Japonaises en parcours de PMA souffrent de dépression」
- 日本経済新聞, 全国紙, 取材依頼, 5/7/2021, 「一人で育児のシングルマザー、9人に1人が心の不調 国立機関「積極支援が必要」
- 神戸新聞, 地方紙, 転載, 5/10/2021, 「5月以降子どもの自殺急増 連休後のSOSに気付いて コロナで心身の疲労蓄積」
- 読売新聞 (Web), ウェブ, 広報プロモート, 5/12/2021, 「新型コロナ変異ウイルス 『こどもだけ』かかりやすい」は誤解 「コロナ×こども本部」が啓発資料」

- 日本経済新聞, 全国紙, プレスリリース, 5/23/2021, 「27日、全国学力テスト、2年ぶり実施——コロナ禍、成績低下の恐れ (News Forecast)」
- テレビ大阪, テレビ, 取材依頼, 5/27/2021, 「大人に相談しにくい...子どものストレス 新型コロナ調査」
- 読売新聞, 全国紙, 取材依頼, 5/29/2021, 「変異ウイルス 子ども向け資料 国立成育医療研究センター」
- NHK ニュースウォッチ9, テレビ, 転載, 6/4/2021, 「コロナ禍の子どもたち・”SOSが見えづらい”」
- FujisankeiBusinessI, 全国紙, 転載, 6/8/2021, 「不妊治療で54%が抑鬱症状、20代の不調目立つ 国立成育医療研究センター調査」
- NHK, テレビ, プレスリリース, 6/7/2021, 「<首都圏ネットワーク>”長期化するコロナ禍”若者の「オーバードーズ」背景に何が」
- 日本経済新聞, 全国紙, 転載, 6/9/2021, 「大人へ相談、遠慮がちに、子どもの半数「話しづらくなった」、コロナ禍、余裕のなさ感じ取り。」
- 朝日新聞, 全国紙, 取材依頼, 6/20/2021, 「(いま子どもたちは) コロナ下の自習室: 1 家より集中、「先生」は大学生」
- President Online, ウェブ, プレスリリース, 6/19/2021, 「「良かれと思ったら逆効果」メンタル不調の子どもに絶対言ってはいけない”ある言葉”」
- 中日新聞 (Web), ウェブ, 転載, 6/23/2021, 「「SOS」言えず、悩みやストレスため込む コロナ下の子どもの1年」
- The Asahi Shimbun, 英字・海外, 転載, 6/26/2021, 「The pandemic is making school life a lot harder for children」
- 読売新聞 オンライン, ウェブ, 転載, 7/1/2021, 「「みんなの周りに無理して笑ってる子いない？」...自殺招くストレス [18歳の1票]」
- President Online, ウェブ, プレスリリース, 7/2/2021, 「念願の地方移住を実行した人が「都会暮らしのほうがよかった」と後悔する理由」
- 読売新聞, 全国紙, 取材依頼, 7/10/2021, 「[教えて!ヨミドック] コロナ 子どもにもストレス? 気持ち楽にする工夫を」
- 沖縄タイムズ, 地方紙, プレスリリース, 7/12/2021, 「[社説] コロナと不登校/急増に「危機感」もっと」
- Business Insider Japan, ウェブ, 取材依頼, 7/13/2021, 「「子ども達は過剰なほど反応」4度目の緊急事態宣言の夏、こどもたちが思うこと」
- 教育家庭新聞, 業界メディア, プレスリリース, 7/19/2021, 「コロナ禍のストレス4割に 成育医療研が子どもアンケート」
- 日刊ゲンダイ (Web), ウェブ, プレスリリース, 7/20/2021, 「子どもの精神疾患の原因にも...「ゲーム障害」の定義と兆候、そして治療法」
- AERA.dot, ウェブ, 取材依頼, 7/29/2021, 「コロナ休校で広がる教育格差 0点取っても「塾に行かせる余裕ない」 とに残される低所得家庭の子ども (AERA)」
- プレジデントオンライン, ウェブ, プレスリリース, 8/15/2021, 「「子供の7割にストレス反応」夏休みに子供を追い詰める在宅親の”ある言動”」
- 中日新聞(web), ウェブ, 転載, 8/20/2021, 「小中学生、止まらぬ視力低下 デジタル機器、コロナ巣ごもり...」
- スッキリ 日テレ, テレビ, プレスリリース, 8/24/2021, 「子ども7割超 ストレス反応 コロナ禍 家庭環境の変化で」
- 毎日新聞, ウェブ, プレスリリース, 8/25/2021, 「不妊治療と仕事の両立 職場が支援すべき三つのこと」
- 朝日新聞, ウェブ, 取材依頼, 8/30/2021, 「スマホ手放さない子に必要なこと 小児科医の耳が痛い話」
- テレビ岩手, テレビ, プレスリリース, 8/28/2021, 「新学期に向けて こどもの不安」

- NHK ラジオ第二, 英字・海外, 転載, 9/4/2021, 「コロナ禍の子ども」
- 朝日放送, テレビ, 転載, 9/13/2021, 「<#朝トレキーワード>値上げの秋」
- MBS ニュース, テレビ, プレスリリース, 9/16/2021, 「ガマン続く中学生らの心のストレスは...? 学年閉鎖を経て授業再開した学校の子どもの声」
- 毎日放送, テレビ, プレスリリース, 9/15/2021, 「<4 c h a n ニュース・大吉チョイス>子どもの”S O S”(2) ころ」
- NHK おはよう日本 5 時台, テレビ, 9/30/2021, 「妊娠中の女性 理想的な体重の増え方は？」
- The Japan Times, 英字・海外, プレスリリース, 10/2/2021, 「Seeing the past two years through a child's eyes」
- FNN プライムオンライン, ウェブ, 取材依頼, 10/30/2021, 「コロナ禍で子どもにうつ症状も・・・注目される「レジリエンス」とは？」
- Kyodo News, 英字・海外, 取材依頼, 11/3/2021, 「New anorexic patients up 60% among young people in Japan amid COVID」
- Japan Today, 英字・海外, 転載, 11/5/2021, 「New anorexic patients up 60% among young people in Japan」
- 朝日新聞, 全国紙, 取材依頼, 11/6/2021, 「学校に行けない コロナ休校の爪痕 大会中止「生きる理由が」」
- NHK おはよう日本, テレビ, 取材依頼, 11/23/2021, 「<コロナ禍の学校はいま>”子どもに寄りそう”変わる教育現場」
- The Japan Times, 英字・海外, 転載, 11/21/2021, 「55% of elementary kids in Japan eager to get COVID-19 shots」
- 報道ステーション, テレビ, 取材依頼, 11/24/2021, 「悩む保護者...子どもも賛否 5～11 歳にワクチン接種」
- 広島ホームテレビ, テレビ, プレスリリース, 11/29/2021, 「コロナワクチン接種したい? 小学生に聞きました」
- 共同通信, ウェブ, 取材依頼, 11/27/2021, 「過半数の小学生 ワクチン希望「受けたくない」38%」
- Nippon.com, 英字・海外, プレスリリース, 12/1/2021, 「Japanese Parents Back COVID-19 Vaccination for Children」

【令和4年研究業績】

1. 誌上発表

(1). 英文原著

1. Yoshii K, Michihata N, Hirasawa K, Nagata S, Morisaki N. Secular trends in early motor development between 1980 and 2010 in Japan. Archives of disease in childhood. 2022;107(5):468-73.
2. Yamamoto S, Tanaka A, Ohmagari N, Yamaguchi K, Ishitsuka K, Morisaki N, et al. Use of heated tobacco products, moderate alcohol drinking, and anti-SARS-CoV-2 IgG antibody titers after BNT162b2 vaccination among Japanese healthcare workers. Preventive medicine. 2022;161:107123.
3. Yamaguchi A, Hosozawa M, Hasegawa A, Okubo Y, Sampei M, Sawada N, et al. The coronavirus disease 2019 pandemic and the rights of the child in Japan. Pediatrics international : official journal of the Japan Pediatric Society. 2022;64(1):e14913.
4. Takahashi Y, Ishitsuka K, Sampei M, Okawa S, Hosokawa Y, Ishiguro A, et al. COVID-19 vaccine literacy and vaccine hesitancy among pregnant women and mothers of young children in Japan. Vaccine. 2022;40(47):6849-56.
5. Suto M, Isayama T, Takehara K, Morisaki N. Reply to the Letter to the Editor "Underestimation of Trisomy 18 and 13 Syndromes in Vital Statistics from Inadequate Death Certificates". Neonatology. 2022;119(1):135-Suto M, Balogun OO, Dhungel B, Kato T, Takehara K. Effectiveness of Workplace Interventions for Improving Working Conditions on the Health and Wellbeing of Fathers or Parents: A Systematic Review. International journal of environmental research and public health. 2022;19(8).
6. Sampei M, Okubo R, Sado M, Piedvache A, Mizoue T, Yamaguchi K, et al. Emotional Exhaustion of Burnout Among Medical Staff and Its Association With Mindfulness and Social Support: A Single Center Study During the COVID-19 Pandemic in Japan. Frontiers in psychiatry. 2022;13:774919.
7. Rahman N, Ishitsuka K, Piedvache A, Tanaka H, Murayama N, Morisaki N. Convenience Food Options and Adequacy of Nutrient Intake among School Children during the COVID-19 Pandemic. Nutrients. 2022;14(3).
8. Okubo Y, Nishi A, Uda K, Miyairi I, Michihata N, Kumazawa R, et al. Financial incentives for infection prevention and antimicrobial stewardship to reduce antibiotic use: Japan's nationwide observational study. The Journal of hospital infection. 2022;131:89-98.
9. Okubo Y, Nishi A, Michels KB, Nariai H, Kim-Farley RJ, Arah OA, et al. The consequence of financial incentives for not prescribing antibiotics: a Japan's nationwide quasi-experiment. International journal of epidemiology. 2022.
10. Ogawa K, Morisaki N, Piedvache A, Nagata C, Sago H, Urayama KY, et al. Association Between Birth Weight and Risk of Pregnancy-Induced Hypertension and Gestational Diabetes in Japanese Women: JPHC-NEXT Study. Journal of epidemiology. 2022;32(4):168-73.
11. Ogawa K, Jwa SC, Morisaki N, Sago H. Risk factors and clinical outcomes for placenta accreta spectrum with or without placenta previa. Archives of gynecology and obstetrics. 2022;305(3):607-15.
12. Murata Y, Isayama R, Imai S, Shoji K, Youndzi M, Okada M, et al. A phase I/IIa trial of atorvastatin in Japanese patients with acute Kawasaki disease with coronary artery aneurysm: Study protocol of a multicenter, single-arm, open-label trial. Contemporary clinical trials communications. 2022;26:100892.
13. Motegi N, Yamaoka Y, Moriichi A, Morisaki N. Causes of death in patients with Down syndrome in 2014-2016: A population study in Japan. American journal of medical genetics Part A. 2022;188(1):224-36.
14. Morisaki N, Yoshii K, Yamaguchi TO, Tamamitsu AM, Kato N, Yokoya S. Preschool-children's height, trend, and causes: Japanese national surveys 1990-2010. Clinical pediatric endocrinology : case reports and clinical investigations : official journal of the Japanese Society for Pediatric Endocrinology. 2022;31(1):10-7.

15. Morisaki N, Obara T, Piedvache A, Kobayashi S, Miyashita C, Nishimura T, et al. Association between smoking and hypertension in pregnancy among Japanese women: a meta-analysis of birth cohort studies in the Japan Birth Cohort Consortium (JBiCC) and JECS. *Journal of epidemiology*. 2022.
16. Morisaki N, Nagata C, Morokuma S, Nakahara K, Kato K, Sanefuji M, et al. Lack of catch-up in weight gain may intermediate between pregnancies with hyperemesis gravidarum and reduced fetal growth: the Japan Environment and Children's Study. *BMC pregnancy and childbirth*. 2022;22(1):199.
17. Morisaki N. Understanding and reducing perinatal health disparities for immigrants and between ethnicities. *Paediatric and perinatal epidemiology*. 2022;36(1):123-4.
18. Maki W, Ishitsuka K, Yamaguchi K, Morisaki N. Vaccine Literacy, COVID-19 Vaccine-Related Concerns, and Intention to Recommend COVID-19 Vaccines of Healthcare Workers in a Pediatric and Maternity Hospital: A Cross-Sectional Study. *Vaccines*. 2022;10(9).
19. Maeda Y, Ogawa K, Morisaki N, Sago H. The association between gestational weight gain and perinatal outcomes among underweight women with twin pregnancy in Japan. *International journal of gynaecology and obstetrics: the official organ of the International Federation of Gynaecology and Obstetrics*. 2022.
20. Kobayashi S, Miyoshi T, Kobayashi T, Hayakawa I, Urayama KY, Uchiyama M, et al. Public attitudes in the clinical application of genome editing on human embryos in Japan: a cross-sectional survey across multiple stakeholders. *Journal of human genetics*. 2022.
21. Kitaguchi-Iwakiri Y, Kamoi K, Takase H, Okubo Y, Ohno-Matsui K. Long-term incidence of posterior capsular opacification in patients with non-infectious uveitis. *Scientific reports*. 2022;12(1):4296.
22. Kachi Y, Ochi M, Kato T, Otsuka M, Takehara K. Factors related to parenting stress among fathers of preschool children in Japan. *Pediatrics international : official journal of the Japan Pediatric Society*. 2022;64(1):e15132.
23. Iwamoto N, Morisaki N, Uda K, Kasai M, Kodama EN, Ohmagari N, et al. Change in use of pediatric oral antibiotics in Japan, pre- and post-implementation of an antimicrobial resistance action plan. *Pediatrics international : official journal of the Japan Pediatric Society*. 2022;64(1):e15197.
24. Isumi A, Doi S, Ochi M, Kato T, Fujiwara T. School- and community-level protective factors for resilience among chronically maltreated children in Japan. *Social psychiatry and psychiatric epidemiology*. 2022.
25. Isumi A, Doi S, Ochi M, Kato T, Fujiwara T. Child Maltreatment and Mental Health in Middle Childhood: A Longitudinal Study in Japan. *American journal of epidemiology*. 2022;191(4):655-64.
26. Ishida Y, Takemoto Y, Kato M, Latif M, Ota E, Morisaki N, et al. Birth weight reference for Japanese twins and risk factors for infant mortality: A population-based study. *PloS one*. 2022;17(7):e0271440.
27. Hosoya S, Ogawa K, Morisaki N, Okamoto A, Arata N, Sago H. Gestational glycosuria, proteinuria, and borderline hypertension in pregnancy are predictors for the later onset of maternal chronic disease. *The journal of obstetrics and gynaecology research*. 2022.
28. Hosokawa Y, Zaitzu M, Okawa S, Morisaki N, Hori A, Nishihama Y, et al. Association between Heated Tobacco Product Use during Pregnancy and Fetal Growth in Japan: A Nationwide Web-Based Survey. *International journal of environmental research and public health*. 2022;19(18).
29. Hosokawa Y, Okawa S, Hori A, Morisaki N, Takahashi Y, Fujiwara T, et al. The prevalence of COVID-19 vaccination and vaccine hesitancy in pregnant women: an internet-based cross-sectional study in Japan. *Journal of epidemiology*. 2022.
30. Horikawa C, Murayama N, Sampei M, Kojima Y, Tanaka H, Morisaki N. Japanese school children's intake of selected food groups and meal quality due to differences in guardian's literacy of meal preparation for children during the COVID-19 pandemic. *Appetite*. 2022;106186.

31. Goto R, Piedvache A, Hangai M, Yamaoka Y, Sanpei M, Sawada N, et al. Time trends in emotional well-being and self-esteem in children and adolescents during the COVID-19 pandemic. Child and adolescent psychiatry and mental health. 2022;16(1):89.
32. Goto R, Okubo Y, Skokauskas N. Reasons and trends in youth's suicide rates during the COVID-19 pandemic. The Lancet regional health Western Pacific. 2022;27:100567.
33. Goto R, Nianogo R, Okubo Y, Inoue K. Evaluation of Obesity Trends Among US Adolescents by Socioeconomic Status, 1999-2018. JAMA pediatrics. 2022.
34. Funaki T, Sanpei M, Morisaki N, Mizoue T, Yamaguchi K. Serious vitamin D deficiency in healthcare workers during the COVID-19 pandemic. BMJ Nutrition, Prevention & Health. 2022:e000364.
35. Funaki S, Ogawa K, Ozawa N, Hosoya S, Okamoto A, Urayama KY, et al. Association between fetal sex and pregnancy outcomes among women with twin pregnancies: a multicenter cross-sectional study. Archives of gynecology and obstetrics. 2022.
36. Obikane E, Sasaki N, Imamura K, Nozawa K, Vedanthan R, Cuijpers P, Shimazu T, Kamada M, Kawakami N, Nishi D. Usefulness of Implementation Outcome Scales for Digital Mental Health (iOSDMH): Experiences from Six Randomized Controlled Trials. Int J Environ Res Public Health. 2022 Nov 27;19(23):15792.

(2). 英文総説・著書

(3). 和文論文・総説・寄稿・著書

[和文原著論文]

1. 小島唯, 村山伸子, 堀川千嘉, 田中久子, 森崎菜穂: 新型コロナウイルス感染症流行による緊急事態宣言の学校給食への影響—全国の給食の実施状況調査結果— 栄養学雑誌.
2. 因幡優美, 小河邑子, 安田采未, 小林しのぶ, 加藤承彦, 竹原健二: オンラインマタニティクラスのニーズに関する調査. ペリネイタルケア. 2022 年 4 月号
3. 大野佳子, 三瓶舞紀子, 長谷川文香, 松隈誠矢, 半谷まゆみ, 森崎菜穂. COVID-19 対策下における保護者の心理・社会経済状況によるこどもの意見の特徴: Web 調査による自由記述のテキスト分析. 日本公衆衛生雑誌. 2022/9/5 アクセプト.

[和文総説・寄稿・著書]

1. 森崎菜穂. 周産期医学 52 巻 7 号 (7 月号) 周産期と最先端サイエンス「新生児医療へのビッグデータの活用」. 2022.07 月 寄稿
2. 森崎菜穂. 「DOHaD を基盤とする疫学研究 出生統計と疫学」. DOHaD 先制医療への展開 2022.05.31. 著述
3. 森崎菜穂. 「コロナ禍の中の子供とその保護者の心の実態」. 令和 4 年度版「学校保健の動向」 2022.08.31 著述
4. 森崎菜穂: Q49 妊娠中、どのくらい体重が増えてよいのでしょうか? 周産期医学. 2022 年 9 月 52 巻増刊号.
5. 森崎菜穂: Q58 信仰上の理由で断食します。大丈夫でしょうか? 周産期医学. 2022 年 9 月 52 巻増刊号.
6. 森崎菜穂: 新生児医療へのビッグデータの活用. 周産期医学. 2022 年 7 月号.
7. 森崎菜穂: DOHaD 学説と臨床疫学研究から見た本邦の現状. 遺伝子医学. 2022 年 10 月号. 総説
8. 森崎菜穂: 特集: コロナ禍のなかの子供とその保護者のこころの実態. 学校保健の動向 令和 4 年度. 丸善出版. 著書
9. 加藤承彦. 雑誌「周産期医学」52 巻 9 号 (2022 年 9 月号特集)「多胎児と家族への支援に取り組もう」. 寄稿
10. 大久保祐輔. 「こどものことをもっと知ろう」連載 (麻酔科医向け). 寄稿 2022.05.20
11. 大久保祐輔. 雑誌「小児の感冒薬 (上気道感染の薬)」連載: こどものことをもっと知ろう (麻酔科医向け). 寄稿

2. 学会発表

国際学会講演・シンポジウム・招待講演

(1). 国際学会講演・シンポジウム・招待講演

(2). 国際学会一般演題発表

1. 森崎菜穂. Association between smoking and hypertension in pregnancy among Japanese women: a meta-analysis of birth cohort studies in the Japan Birth Cohort Consortium (JBiCC) and JECS. DOHAD World Congress 2022 Vancouver, Canada 2022.08.29

(3). 国内学会講演・シンポジウム・招待講演・教育講演・特別講演

1. 森崎菜穂. (シンポジウム) 出生コホートを基盤とする疫学研究の推進. シンポジウム 日本疫学会 オンライン 2022.01.28
2. 森崎菜穂. エコチル調査で作成した妊娠中の体重増加曲線について. シンポジウム 第11回エコチル調査シンポジウム オンライン(YouTube) 2022.02.20
3. 森崎菜穂. (シンポジウム) 出生コホート連携. シンポジウム 第92回日本衛生学会学術総会 オンライン 2022.03.22
4. 森崎菜穂. (シンポジウム) 健康寿命を延ばすための予防医療. シンポジウム 第119回日本内科学会講演会 京都 2022.04.17
5. 森崎菜穂. 「子どもと語るコロナ」. 講演 (神奈川県知事) 黒岩知事との対話の広場 オンライン (神奈川県) 2022.05.31
6. 森崎菜穂. 妊産婦栄養の最前線. 教育講演 第58回日本周産期・新生児医学会学術集会 横浜 2022.07.10
7. 森崎菜穂. (シンポジウム) 日本出生コホートコンソーシアム(JBiCC)の立ち上げとその成果. シンポジウム 第9回 DOHAD 学会 仙台 2022.10.07
8. 森崎菜穂. 妊娠糖尿病妊婦の体重管理. 基調講演 第38回日本糖尿病・妊娠学会年次学術集会 東京 2022.11.05
9. 森崎菜穂. 成育基本法、こども家庭庁の時代における『日本子ども健康科学会』のあり方. シンポジウム 第24回日本子ども健康科学会学術大会 東京 2022.11.27
10. 森崎菜穂. 医療者と妊婦の双方の行動変容の取り組み例～妊娠中体重増加のエビデンス作りとその実装～. 講演 第29回日本行動医学学術総会 大阪 2022.12.11
11. 森崎菜穂. パネルディスカッションパネリスト「みんなで育む こどもからの未病改善-誰でも学べる新たな食育-」. 講演 第43回世界健康フォーラム 2022・神奈川『みんなで育む こどもからの未病改善-誰でも学べる新たな食育-』茅ヶ崎市民文化会館 2022.12.14
12. 大久保祐輔. 小児への風邪薬の効果に関するエビデンス：システマティック・レビューとメタ解析. (株)日経ラジオ社小児科医療 UP-to-DATE オンデマンド 2022.10.07
13. 大久保祐輔. 子どものかぜと風邪薬の話. 教育講演 小児救急市民公開フォーラム (小児科学会主催) 長野 2022.10.23
14. 山口有紗 (コロナ×こども本部). データから見る、新型コロナ流行による乳幼児から学齢期の親子への影響. 招待講演 川崎市麻生区要保護児童対策地域協議会実務者会議 オンライン 2022.01.24
15. 山口有紗 (コロナ×こども本部). コロナと共に生きる子どものこころ- 輪(わ)とレジリエンスの視点から -. 招待講演 石川県こころの健康センター子どもの心のケア推進事業育成セミナー オンライン 2022.07.20
16. 山口有紗 (コロナ×こども本部). コロナと共に生きる子どものこころ- 輪(わ)とレジリエンスの視点から -. 招待講演 狛江市令和4年度 学校保健委員会 東京都 2022.09.28

17. 山口有紗 (コロナ×こども本部) . コロナと共に生きる子どものこころ- 輪(わ)とレジリエンスの視点から -. 招待講演 思春期こころのケアネットワーク会議 オンライン 2022.11.15
18. 山口有紗 (コロナ×こども本部) . コロナ禍の子どものこころーコロナ×こどもアンケートをもとにー. シンポジウム 日本精神神経科診療所協会 児童青少年問題関連委員会 Web シンポジウム (オンデマンド配信) 2022.11.27~2022.12.23
19. 澤田なおみ (コロナ×こども本部) . コロナ禍で今何が起きているのかー子どもの声から考えるーコロナ×こどもアンケートよりー. 招待講演 さっぽろ青少年女性活動協会 合同職員研修 オンライン 2022.01.28
20. 澤田なおみ (コロナ×こども本部) . コロナ禍で今何が起きているのかー子どもの声から考えるーコロナ×こどもアンケートよりー. 招待講演 令和3年度(第46回)岸和田市学校保健会合同研究協議会 オンライン 2022.02.03
21. 澤田なおみ (コロナ×こども本部) . コロナ禍における健康課題と具体的対応ーコロナ×こどもアンケートよりー. 招待講演 小田原市養護教諭研究協議会 オンライン 2022.06.22
22. 澤田なおみ (コロナ×こども本部) . コロナ禍におけるこどもたちの心とからだーコロナ×こどもアンケートよりー. 招待講演 横須賀市学校保健研修講座 オンライン 2022.08.25
23. 澤田なおみ (コロナ×こども本部) . コロナ禍での子どもの生活と健康の変化ー何が起こったのか 私たちに何ができるのかー. 招待講演 茨木市学校保健交流会 オンライン 2022.11.04
24. 澤田なおみ (コロナ×こども本部) . コロナ禍におけるこどもたちの心とからだ 学校現場の皆様に向けて. 特別講演 第78回北陸学校保健学会 金沢 2022.11.26

(4). 国内学会一般演題

1. 高橋揚子 (国立成育医療研究セ 社会医学研究部), 石塚一枝 (国立成育医療研究セ 社会医学研究部), 田中久子 (国立成育医療研究セ 社会医学研究部), 村山伸子 (新潟県大 人間生活), 石黒精 (国立成育医療研究セ 教育研修セ), 森崎菜穂 (国立成育医療研究セ 社会医学研究部). 新型コロナウイルス感染症パンデミックがひとり親家庭の児童の食事に与える影響. 口頭発表 第125回日本小児科学会学術集会 オンライン 2022.04.17
2. 帯包エリカ 「コロナ禍における父親の育児休業取得と父親の産後うつ症状の関連」一般演題 第81回日本公衆衛生学会総会. 甲府 2022.10.08

【研究費】

公的研究費 (研究代表者)

〔国立研究開発法人日本医療研究開発機構〕

〔文部科学省科学研究費〕

1. 森崎菜穂 国際共同研究事業英国との国際共同研究プログラム(JRP-LEAD with UKRI) (和文) 新型コロナウイルス流行下における日英の親子の精神的健康とニーズの推移分析から学ぶ
(英文) Learning from the trajectories of mental health challenges for children, young people and parents across Japan and UK over the course of the COVID-19 pandemic: a mixed method analysis」(2021年度~2024年度)
8,824千円; 間接経費含む (2022年度分総額)
2. 森崎菜穂 科学研究費助成事業 (科学研究費補助金) 基盤研究(B) 研究課題名「思春期のこころの発達とリスク行動に関する全国加速コホート調査」(2022年度~2026

年度)

- 1,200 千円；間接経費含む（2022 年度総額）
3. 加藤承彦 科学研究費助成事業（学術研究助成基金助成金）基盤研究（C） 研究課題名「不妊治療患者の現状および必要とされる公的支援に関する研究」2021 年度～2023 年度
1,300 千円；間接経費含む（2022 年度総額）
4. 小林しのぶ 科学研究費助成事業（学術研究助成基金助成金）基盤研究（C） 研究課題名「臨床・遺伝的情報を用いた川崎病患者における高精度治療反応性予測モデルの開発」（2020 年度～2022 年度）
390 千円；間接経費含む（2022 年度総額）
5. 田中久子 科学研究費助成事業（学術研究助成基金助成金）基盤研究（C） 研究課題名「小児肥満における生活習慣病予防のための検診介入と新たなアプローチの開発」（2022 年度～2024 年度）
2,000 千円；間接経費含む（2022 年度総額）
6. 帯包エリカ 科学研究費助成事業（学術研究助成基金助成金）研究活動スタート支援 研究課題名「父親の周産期うつ病予防のためのインターネット認知行動療法」（2021 年度～2022 年度）
1,560 千円；間接経費含む（2022 年度総額）
7. 森口ふさ江 科学研究費助成事業（学術研究助成基金助成金）基盤研究（C） 研究課題名「小児看護領域に従事する看護師を対象とした臨床推論教育プログラムの開発」（2020 年度～2022 年度）
650 千円；間接経費含む（2022 年度総額）
8. 森崎菜穂 外国人研究者招へい事業 研究課題名「妊娠中における低栄養曝露と胎盤エピゲノム：出生コホートでの検討」（2022 年度）
150 千円；間接経費含む（2022 年度総額）

〔厚生労働科学研究費〕

1. 森崎菜穂 循環器疾患・糖尿病等生活習慣病対策総合研究事業 研究課題名「新型コロナウイルス感染症流行による子どもの食生活変化とその社経済的要因の解明のための研究」（2021 年度～2022 年度）
4,940 千円；間接経費含む（2022 年度総額）

〔国立研究開発法人科学技術振興機構〕

1. 大久保祐輔 戦略的創造研究推進事業（JST-さきがけ）パンデミックに対してレジリエントな社会・技術基盤の構築 研究課題名「パンデミックに強い子どもの医療・保健・教育連携モデルの構築」（2022 年度～2025 年度）
10,000 千円；間接経費含む（2022 年度総額）

〔国立高度専門医療研究センター医療研究連携推進本部横断的研究推進費〕

1. 森崎菜穂 6NC2022 横断的研究推進組織に関する研究事業 研究課題名「電子化医療情報を活用した疾患横断的コホート研究情報基盤整備事業」（2022 年度）
8,150 千円；間接経費含む（2022 年度総額）

〔令和 4 年度 子ども・子育て支援推進調査研究事業〕

1. 帯包エリカ 研究課題名「母子保健における児童虐待予防等のためのリスクアセスメントの実証に関する調査研究」（2022 年度）
9,493 千円；間接経費含む（2022 年度総額）

〔成育医療研究開発費〕

1. 加藤承彦 成育医療研究開発費（2022B-9）加藤 研究課題名「乳幼児期、学童期、思春期の子どもに関する政府統計等の大規模データ活用のための基盤整備と活用の促進」（2022 年度）
1,170 千円；間接経費含む（2022 年度総額）
2. 小林しのぶ 成育医療研究開発費（2022C-19）小林 研究課題名「川崎病における教育体制構築に向けた既往者の教育管理に関する実態調査」（2022 年度）
690 千円；間接経費含む（2022 年度総額）

公的研究費（研究分担者）

〔国立研究開発法人日本医療研究開発機構〕

1. 森崎菜穂 成育疾患克服等総合研究事業（AMED-BIRTHDAY）研究課題名「出生コホート連携に基づく胎児期から乳幼児期の環境と母児の予後との関連に関する研究」栗山進一（東北大学）（2019 年度～2023 年度）
1,216 千円；間接経費含む（2022 年度分担額）
2. 森崎菜穂 成育疾患克服等総合研究事業（AMED-WISE）研究課題名「プレコンセプションの女性に着目した疾患予防に関する総合的ケア方法の確立ー妊孕能低下予防・妊娠併症リスクの低減を目指したプレコンセプション女性に対する包括的支援プログラムの開発」甲賀かをり（東京大学）（2019 年度～2021 年度）
2,600 千円；間接経費含む（2022 年度分担額）
3. 森崎菜穂 成育疾患克服等総合研究事業（AMED-BIRTHDAY）研究課題名「周産期・小児領域における高品質臨床研究推進のための臨床研究コンソーシアム」小林徹（成育） 研究開発代表者一括計上

〔内閣府研究開発事業〕

1. 大久保祐輔 AI ホスピタル 2304080405 研究課題名「小児周産期 QI ベンチマークシステムおよび QI 利活用体制・社会実装基盤の開発」新城大輔（東京医科歯科大学大学院）
（2022 年度） 2,100 千円（2022 年度分担額）

〔文部科学省科学研究費〕

1. 森崎菜穂 科学研究費助成事業（科学研究費補助金）基盤研究（B） 研究課題名「質的価値を小児医療提供体制に還元するモデル基盤の確立に関する研究」新城大輔（東京医科歯科大学大学院）（2020 年度～2023 年度）
130 千円；間接経費含む（2022 年度分担額）
2. 森崎菜穂 科学研究費助成事業（学術研究助成基金助成金）基盤研究（C） 研究課題名「プレコンセプションケアの行動的リスクに関するアプリを用いた教育プログラムの開発」三瓶舞紀子（日本体育大学）（2021 年度～2024 年度）
0 千円；間接経費含む（2022 年度分担額）
3. 浦山ケビン 科学研究費助成事業（学術研究助成基金助成金）基盤研究（C） 研究課題名「小児 AYA 世代のがん経験者や家族の知的・身体的レジリエンスを評価・支援する研究」末延聡一（大分大学医学部）（2021 年度～2024 年度）
156 千円；間接経費含む（2022 年度分担額）
4. 加藤承彦 科学研究費助成事業（学術研究助成基金助成金）基盤研究（B） 研究課題名「子育て期の父親における、仕事と家事・育児の両立のあり方に関する包括的な研究」竹原健二（成育政策科学研究部）（2021 年度～2023 年度）
130 千円；間接経費含む（2022 年度分担額）

5. 加藤承彦 科学研究費助成事業（科学研究費補助金）基盤研究（S） 研究課題名「ポストコロナの教育格差研究：世界的課題の解明とオンラインでの調査・実験手法の革新」赤林英夫（慶應義塾大学）（2021年度～2025年度）
208千円；間接経費含む（2022年度分担額）
6. 加藤承彦 科学研究費助成事業（科学研究費補助金）学術変革領域研究 A 研究課題名「子どもの健康格差の解明」可知悠子（東京都立大学）（2022年度～2026年度）
2,275千円；間接経費含む（2022年度分担額）
7. 大久保祐輔 科学研究費助成事業（科学研究費補助金）基盤研究(B) 研究課題名「思春期のこころの発達とリスク行動に関する全国加速コホート調査」森崎菜穂（成育社会医学研究部）（2022年度～2026年度）
130千円；間接経費含む（2022年度分担額）
8. Aurelie Piedvache 科学研究費助成事業（学術研究助成基金助成金）基盤研究（C）研究課題名「プレコンセプションケアの行動的リスクに関するアプリを用いた教育プログラムの開発」三瓶舞紀子（日本体育大学）2021年度～2024年度
0千円；間接経費含む（2022年度分担額）
9. Aurelie Piedvache 科学研究費助成事業（科学研究費補助金）基盤研究(B) 研究課題名「思春期のこころの発達とリスク行動に関する全国加速コホート調査」森崎菜穂（成育社会医学研究部）（2022年度～2026年度）
130千円；間接経費含む（2022年度分担額）
10. Aurelie Piedvache 科学研究費助成事業（学術研究助成基金助成金）基盤研究（C）研究課題名「新生児低酸素性虚血性脳症の発達予後予測マーカーの確立」柴崎淳（神奈川県立こども医療センター）（2020年度～2022年度）
65千円；間接経費含む（2022年度分担額）
11. 石塚一枝 科学研究費助成事業（科学研究費補助金）基盤研究(B) 研究課題名「思春期のこころの発達とリスク行動に関する全国加速コホート調査」森崎菜穂（成育社会医学研究部）（2022年度～2026年度）
130千円；間接経費含む（2022年度分担額）
12. 石塚一枝 科学研究費助成事業（科学研究費補助金）基盤研究(B) 研究課題名「ヒト便中マイクロプラスチック分析による取り込み評価と生体影響」辻真弓（産業医科大学医学部）（2022年度～2026年度）
130千円；間接経費含む（2022年度分担額）

〔厚生労働科学研究費〕

1. 森崎菜穂 成育疾患克服等次世代育成基盤研究事業(健やか次世代育成総合研究事業) 研究課題名「成育基本法を地域格差なく継続的に社会実装するための研究」山縣然太郎（山梨大学大学院）（2021年度～2023年度）
400千円；間接経費含む（2022年度分担額）
2. 森崎菜穂 成育疾患克服等次世代育成基盤研究事業(健やか次世代育成総合研究事業) 研究課題名「乳幼児の発育・発達、栄養状態の簡易な評価手法の検討に関する研究」横山徹爾（国立保健医療科学院）（2021年度～2023年度）
1,000千円；間接経費含む（2022年度分担額）

〔国立高度専門医療研究センター医療研究連携推進本部横断的研究推進費〕

1. 森崎菜穂 JH2020-B-09 研究課題名「ナショナルセンター職員における 新型コロナウイルス感染症の実態と要因に関する多施設共同観察研究」山口晃史（成育周産期・母性診療センター）（2020年度～2023年度）
11,910千円；間接経費含む（2022年度分担額）

私的研究費（研究代表者）

1. 加藤承彦 公益財団法人ファイザーヘルスリサーチ振興財団 研究課題名「コロナ禍における保育士の身体および精神的健康に関する大規模な疫学調査」（2022 年度～2023 年度）
1,200 千円；間接経費含む（2022 年度総額）

【その他】

(1). [教育活動]

森崎菜穂

1. 東京大学大学院医学共通講義生殖発達加齢医学入門（成育政策学）連携准教授
2. 東京医科歯科大学大学院医歯学総合研究科（医療政策情報学分野）非常勤講師
3. 聖路加国際大学公衆衛生大学院 非常勤講師

加藤承彦

1. 聖路加国際大学公衆衛生大学院客員准教授
2. 東京都立大学客員准教授

太久保祐輔

1. 横浜市立大学大学院データサイエンス研究科 非常勤講師

帯包エリカ

1. 東京医科歯科大学 大学院医歯学総合研究科 国際健康推進医学 非常勤講師
2. 東京大学医学系研究科 精神保健学分野 非常勤講師

(2). [社会貢献]

森崎菜穂

1. 東京都教育委員会 東京都教育委員会子どもを笑顔にするプロジェクト プロジェクトアドバイザー

(3). [受賞]

- 森崎菜穂. 2021 年度 小児医学川野賞（社会医学）川野小児医学奨学財団 2022 年 3 月

(4). [研究所運営への貢献]

森崎菜穂

1. 共同研究管理委員会

加藤承彦

1. 倫理予備審査委員会社会医学部会
2. 防災対策ワーキンググループ
3. 動物実験委員会委員

太久保祐輔

1. NDB 運用管理小委員会

[プレスリリース・広報活動]

(1). [プレスリリース]

1. 社会医学研究部（加藤承彦） 父親が家事・育児をする時間を確保するには、仕事関連時間を 9.5 時間以内にすることが必要 2022.01.13
2. コロナ×こども本部 「コロナ×こども本部」調査報告 鬱(うつ)になっても「誰にも相談せず様子をみる」こども 25～51% 鬱(うつ)になっても「誰にも相談せず様子をみる」こども 25～51% 2022.03.24

3. 社会医学研究部（森崎菜穂） 国立成育医療研究センターと『ルナルナ』が、新型コロナウイルス感染症の流行や新型コロナワクチンによる女性ヘルスケアへの影響に関する共同研究を開始 2022.07.12
4. 社会医学研究部（小林しのぶ） ヒト受精胚へのゲノム編集技術の臨床利用 意識調査一般市民、患者関係者、医療従事者で意識が異なる傾向が明らかに 十分な議論をするためにも、人々の理解を深めることが重要 2022.07.26
5. 社会医学研究部（森崎菜穂） 妊娠中の喫煙は妊娠高血圧症候群のリスクを高める欧米と相反する結果が、全国出生コホートコンソーシアムからの初成果で明らかに 2022.08.09
6. 社会医学研究部（森崎菜穂，石塚一枝） 妊婦と 2 歳以下の子の母親の新型コロナワクチン接種意向に関するインターネット調査 2022.11.25

(2). [報告書・啓発パンフレット]

1. コロナ×こども本部 音声解説付資料「コロナと共に生きる子どものこころ -輪（わ）とレジリエンスの視点から-」 2022.08.24
2. コロナ×こども本部 第7回調査報告書「コロナ×こどもアンケート」，「コロナ禍における思春期のこどもとその保護者のこころの実態」調査報告書，「こどもから学ぶ こどもの気持ちや考えの聞き方」，「こどもの SOS に気づいたら」 2022.03.23
3. コロナ×こども本部 動画・リーフレット「しんどいって言えない」 2022.04.06

(3). [公開 WEB ページ]

1. 社会医学研究部 タイトル「全国出生コホートコンソーシアム JBiCC」
<https://www.ncchd.go.jp/center/activity/jbicc/index.html>
2. 社会医学研究部 タイトル「Story みんなの物語」
https://www.ncchd.go.jp/center/activity/story/story_registry.html#3tab
3. コロナ×こども本部(社会医学研究部) タイトル「コロナ×こども本部」
https://www.ncchd.go.jp/center/activity/covid19_kodomo/index.html
4. コロナ×こども本部(社会医学研究部) タイトル「「コロナ×こどもアンケート」LINE 公式アカウント LINE VOOM 配信一覧」
https://linevroom.line.me/user/_daMTk_FYugT2S5QRicNXMIupvsgo5QcmtuSci8Q?utm_medium=windows&utm_source=desktop&utm_campaign=OA_Profile

(4). [メディア出現数]

全国紙 18 件、テレビ 36 件、ラジオ 1 件、業界メディア 9 件、雑誌 2 件、地方紙 107 件、ウェブ 177 件、英字・海外 6 件 （一部抜粋）

- Kyodo News, 英字・海外, プレスリリース, 1/6/2022, 「FOCUS: Japan parents weigh pros, cons as vaccine approval for kids in sight」
- 毎日新聞(web), ウェブ, 取材依頼, 1/8/2022, 「視力低下や肥満にも 長くなる子どもの「スクリーンタイム」どう対処する？」
- 名古屋テレビ放送 「ドデスカ!」, テレビ, プレスリリース, 1/14/2022, 「子どものワクチンに医師「納得して接種するのがいい」 長期的なリスクは正直分らない」
- 九州朝日放送「アサデス。KBC」, テレビ, プレスリリース, 1/21/2022, 「こどものワクチン接種について」
- 東京新聞, 地方紙, プレスリリース, 1/10/2022, 「子どものメンタル 塾で鍛える!? 心理カウンセラーが開業 自己肯定感高め本番強く 努力の先に達成感「どんな子ども天才の卵」」
- 時事通信, ウェブ, プレスリリース, 1/20/2022, 「【図解】小学生過半数が接種希望＝保護者は7割超—コロナワクチン」
- ニッポン放送, ラジオ, プレスリリース, 1/25/2022, 「コロナ禍で子どものうつ病が増加」

- Nippon.com, 英字・海外, 転載, 1/27/2022, 「Two in Five Japanese Children Reluctant to Attend School During the Pandemic」
- 読売新聞, 全国紙, 取材依頼, 1/30/2022, 「[コロナから守る] 子どもの感染急増 自宅療養 マスク、換気を徹底」
- 琉球新聞, 地方紙, プレスリリース, 1/31/2022, 「<社説> 5～11歳にワクチン／リスクと意義、国が説明を」
- Otecomachi, ウェブ, 転載, 2/7/2022, 「オミクロン株に感染、子どもの自宅療養どうする...対応策を専門家に聞いた」
- 読売新聞, 全国紙, 取材依頼, 2/2/2022, 「「里親・養子」制度を周知 不妊夫婦 子育ての選択肢 養育「施設から家庭へ」」
- Get News Post, 英字・海外, プレスリリース, 2/10/2022, 「72% of children in Japan feel stress over coronavirus pandemic, poll shows」
- Japan Times, 英字・海外, 転載, 2/18/2022, 「Despite ministry recommendation, some parents in Japan wary of COVID jabs for children」
- 毎日新聞, 全国紙, 取材依頼, 2/24/2022, 「コロナで止まる学び、心身にも影響 休校・休園、子ども疲弊 「身近な大人、SOS 気づく仕組みを」」
- NHK, テレビ, 転載, 2/25/2022, 「<ニュースウオッチ 9> 国内製薬会社で初 塩野義製薬 コロナ飲み薬承認を申請」
- 仙台放送, テレビ, プレスリリース, 2/28/2022, 「子供のワクチン接種 保護者の7割 「受けさせたい」 一方で... <宮城>」
- STV ニュース北海道, テレビ, プレスリリース, 3/8/2022, 「7割の子どもに何らかのストレス反応 コロナ禍の子どもたち心のケアは」
- 山陽新聞, 地方紙, 取材依頼, 3/12/2022, 「記者メモ コロナに関する小中高生調査 社会制限の影、分析必要」
- Yahoo ニュース, ウェブ, 転載, 4/6/2022, 「学び舎の日常少しずつ コロナ禍3回目の入学式 ワクチン差別課題」
- NHK 18 時台, テレビ, 取材依頼, 4/11/2022, 「<首都圏ネットワーク> 小中学生の約3割 うつ症状“相談しない”」
- NHK 首都圏情報ネタドリ!, テレビ, 転載, 4/9/2022, 「気づいていますか? コロナ禍子どもたちの”心”の悲鳴」
- BusinessInsiderJapan, ウェブ, 取材依頼, 4/22/2022, 「コロナ禍で子どもの心に危険信号。SOS をうまく支援につなげるには」
- NHK news, ウェブ, 取材依頼, 4/28/2022, 「
- 朝日放送, テレビ, プレスリリース, 5/4/2022, 「GW明けに要注意! こどもの”悩み”」
- 中部経済新聞, 地方紙, 転載, 5/6/2022, 「子ども1～2割にうつ症状／成育医療研究センター／コロナ禍調査、相談控えも」
- 朝日放送, テレビ, プレスリリース, 5/7/2022, 「<情報アップデート> GW終わっちゃいます...ここは大丈夫?」
- 愛媛新聞, 地方紙, 転載, 5/8/2022, 「[週間の動き] 4月30日～5月6日 政治 経済 国際 社会」
- NHK, 地方紙, 転載, 5/10/2022, 「「君の声が聴きたいプロジェクト」告知」
- TBS, テレビ, プレスリリース, 5/11/2022, 「東京都医師会・屋外のマスク着用見直し提案」
- NHK おはよう日本 7 時台, テレビ, 転載, 5/13/2022, 「子供の自殺増加」
- 静岡新聞, 地方紙, プレスリリース, 5/21/2022, 「コロナ禍とこども 小さな異変を見逃すな」

- 中部新聞, 地方紙, プレスリリース, 5/27/2022, 「「悩み理解してもらえない」／コロナ禍／子どもたちの心にも影響／長引く制限、家族に余裕なく／アクセスしやすい相談先必要」
- WithNews, ウェブ, オウンドメディア, 5/31/2022, 「「絶対ひとりじゃないよ」 TikTok45 万フォロワーの大学生、5月のつらさに寄り添う動画」
- 中国放送, テレビ, プレスリリース, 5/30/2022, 「増える子どもの「うつ」 コロナ禍で1割に症状 「お前ならできるはずだ」はNG 専門医が指摘」
- 朝日新聞 web, ウェブ, 取材依頼, 6/2/2021, 「自己決定権奪われて...子どもを追い詰めるコロナ、中高生2割うつ症状」
- 新潮オンライン, ウェブ, プレスリリース, 6/4/2022, 「同調圧力でマスク着用を続ける日本人 高齢者にリスクとの指摘も...酸素濃度の低い空気が招く病気とは」
- 朝日新聞 web, ウェブ, 転載, 6/8/2022, 「コロナ禍の子どもたちに、自己決定権をおおとしまささん×末富芳さん「コメントプラス」」
- 日本教育新聞, 業界メディア, オウンドメディア, 6/10/2022, 「国立成育医療研究センターが自傷行為当事者に向けたリーフレットを作成」
- 毎日新聞, ウェブ, 転載, 6/20/2022, 「コロナで子ども1～2割、うつ症状 国立成育研調査」
- 日刊ゲンダイ online, ウェブ, プレスリリース, 7/8/2022, 「小学校に上がるまでの栄養状態でその後の学力や地力が決まる 医療情報学教授が解説」
- 山陰新聞, 地方紙, プレスリリース, 7/5/2022, 「コロナ禍のSOS／山陰の子どもたち(3)／対応に追われいら立つ親・他者に助け求めづらく」
- 日本経済新聞, ,, 7/14/2022, 「子どもの肥満減少、休校少なく運動不足改善か」
- NHK, テレビ, プレスリリース, 7/22/2022, 「「みみより！くらし解説～広がる欠食習慣」」
- 富山テレビ, テレビ, 取材依頼, 7/20/2022, 「コロナ禍の長期化で子どもに異変が...“給食の食べ残し”“うつ症状”...子どもをどう守る？」
- 読売新聞, 全国紙, 取材依頼, 7/28/2022, 「運動習慣 学校で 遊び場現象、コロナ禍・・・」
- 大手小町(読売), ウェブ, 取材依頼, 8/9/2022, 「こどもが考えた気持ちを楽にする23のくふう」
- 朝日新聞, 全国紙, 転載, 8/30/2022, 「
- 子の腹痛、心の不調？ うつ症状「夏休み明け注意を」
- NHK web, ウェブ, 取材依頼, 8/31/2022, 「夏休み明け 思春期の子どもの心と向き合う 東京・板橋区の中学校」
- 新潟総合テレビ, テレビ, プレスリリース, 9/3/2022, 「新型コロナ禍で子どもの体力低下！？医師が指摘「規則正しい生活と”体験”が大事」【新潟発】」
- 現代ビジネス, ウェブ, プレスリリース, 9/4/2022, 「風邪薬に咳止め...女子高生たちの間で蔓延する、「生きるための合法薬物乱用」の「ヤバすぎる実態」
- 中部経済新聞, 地方紙, 転載, 9/7/2022, 「子ども夏休み明け、注意を 不調時は無理せず相談」
- 河北新報, 地方紙, 取材依頼, 9/6/2022, 「子どもの自傷行為 理解大切」
- FNNプライムオンライン, ウェブ, 転載, 9/11/2022, 「新型コロナ禍で子どもの体力低下 背景にスマホ・ゲーム時間増...高齢者に多い「ロコモ」の懸念も【新潟発】」
- 京都新聞, 地方紙, 転載, 9/13/2022, 「子ども夏休み明け 不調時に注意を」
- 琉球新報, 地方紙, 転載, 9/8/2022, 「夏休み明け 子に注意を／体の不調は心のSOS」
- 日本経済新聞, 全国紙, プレスリリース, 9/20/2022, 「子どもの心「なんとなく不調」 コロナ禍でストレス どう対処？(育む)」
- 沖縄タイムス, 地方紙, 転載, 9/14/2022, 「新学期 子どもの不調に注意」

- Yahoo ニュース, ウェブ, 転載, 9/29/2022, 「「子どもをバイ菌あつかいしないほしい」コロナ禍に苦しむ小学生が大人たちに伝えたいこと」
- サライ, ウェブ, プレスリリース, 10/8/2022, 「コロナうつを訴える子が約4割に！」
- TBS News Dig, ウェブ, プレスリリース, 11/6/2022, 「いじめによる「1号重大事態」が過去最多」
- 日本経済新聞, 全国紙, 取材依頼, 11/5/2022, 「170.9センチの壁 日本人、すでに身長限界に？」
- サライ, ウェブ, プレスリリース, 11/12/2022, 「「学校に行きたくない」が約4割！子どもたちのメンタルが危ない【本番に強い子になる自律神経の整え方】」
- 新R25, ウェブ, プレスリリース, 11/18/2022, 「「人づきあい」を減らしているのは、むしろ高齢者。コロナ禍がもたらす“本当の日本の危機”」
- サライ, ウェブ, プレスリリース, 11/22/2022, 「子どもたちがストレスを溜め込み「コロナうつ」になる危険性【本番に強い子になる自律神経の整え方】」

以上